LUMIX Phone P-02D

ISSUE DATE: '13.1

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

はじめに

「P-02D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご利用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

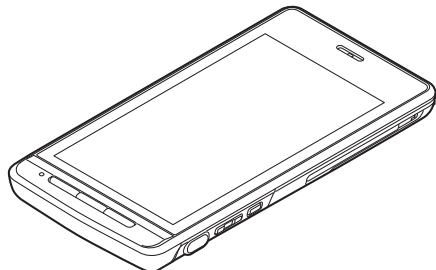
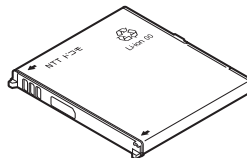
SIMロック解除

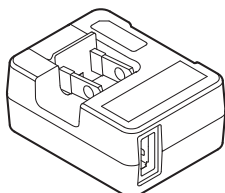
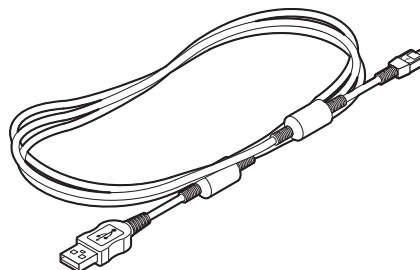
本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

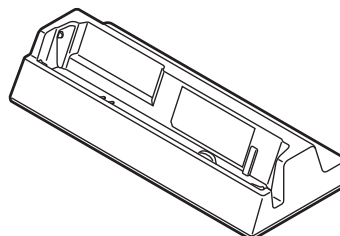
- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

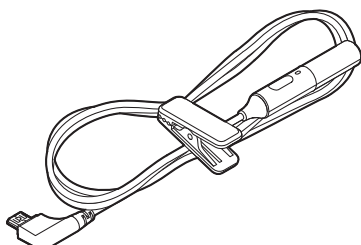
本体付属品／試供品

■ 本体付属品

- P-02D本体
  （保証書、リアカバー P54）

- 電池パック P26

- ACアダプタケーブル P01（保証書付き）
  <ACアダプタ>

<microUSBケーブル>

- クイックスタートガイド

- 卓上ホルダ P48（保証書付き）

■ 試供品

- イヤホン変換アダプタ（取扱説明書付き）

- microSDカード（2GB）（取扱説明書付き）

※お買い上げ時には、あらかじめ端末に取り付けられています。

- その他オプション品については☞P.248

操作説明について

P-02Dの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

■[取扱説明書]（本端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ホーム画面▶▶[取扱説明書]

- はじめてご利用される際には、本アプリケーションをPlayストアからインストールする必要があります。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の操作説明は、ホームアプリを[docomo Palette UI]に設定した操作で説明しています。ホームアプリを変更した場合は、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（マイプロフィール）の確認については☞P.113
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.156
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☞P.146）。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、PlayストアなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットVI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- microSDカードを挿入しなくても本端末をお使いいただくことはできますが、カメラで撮影した画像など、microSDカードにしか保存できないデータがございます。
  このため、本端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によっては外部機器においてアプリケーション（ブラウジング・ゲームなど）が正常に動作しない場合があります。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁 止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指 示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、ACアダプタケーブル、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて <共通>

危険

禁 止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁 止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記をご参照ください。
☞P.30「防水性能」

指 示

本端末に使用する電池パックおよびACアダプタケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁 止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁 止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁 止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指 示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指 示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁 止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁 止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指 示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をACアダプタケーブルに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・ACアダプタケーブルの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質については☞P.20「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

ACアダプタケーブル、卓上ホルダの取り扱いについて

危険

禁止

付属のmicroUSBケーブル以外を接続しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

警告

禁止

microUSBケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタケーブルや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

禁 止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

microUSBケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁 止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタケーブル、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指 示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	側面ボタン周囲	ABS／UV塗装
	ディスプレイ面	PA／UV塗装
	ディスプレイ面ボタン周囲、電池面、リアカバー側の側面	PC／UV塗装
	リアカバー	PC／アルミ箔、UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子カバー		エラストマ、シリコンゴム、PC／UV塗装
カメラリング部（内）		アルミ／アルマイト処理
カメラリング部（外）		ABS／UV塗装
カメラレンズ部、赤外線ポート部		PMMA／ハードコート、ARコート、撥水コート
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ、パラジウムメッキ、金メッキ
ディスプレイパネル		ガラス、PET／表面ハードコート
電池収納部		ガラスエポキシ基板
電池収納面		アルミ
電池端子	樹脂部分	PA
	端子部	チタン銅／ニッケルメッキ、金メッキ
電池パック	樹脂部分	PC
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ、金メッキ
	ラベル	PET
ドコモminiUIMカードトレイ	金属部	ステンレス鋼
	樹脂部	LCP
パッキン（リアカバー裏面）		シリコンゴム
フラッシュ部		PMMA

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>材質／表面処理</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ボタン</td><td>メニューボタン、ホームボタン、バックボタン、電源ボタン、音量ボタン</td><td>PC／UV塗装</td></tr>
<tr><td>シャッターボタン</td><td>PC／アルミ蒸着、UV塗装</td></tr>
<tr><td colspan="2">ラベル（電池収納面）</td><td>ポリエステル</td></tr>
<tr><td colspan="2">ラベル（電池面）</td><td>PC</td></tr>
<tr><td colspan="2">ラベル（リアカバー内側）</td><td>PET</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ワンセグアンテナ</td><td>先端樹脂部分</td><td>ABS／UV塗装</td></tr>
<tr><td>金属部分（パイプ部）</td><td>ステンレス鋼</td></tr>
<tr><td>金属部分（ワイヤ部）</td><td>ニッケルチタン合金</td></tr>
<tr><td>金属部分（ワイヤ結合部）</td><td>黄銅／スズコバルトメッキ</td></tr>
<tr><td>金属部分（ヒンジ部）</td><td>ステンレス鋼／ニッケルメッキ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">microSDカード挿入口</td><td>樹脂部分</td><td>LCP</td></tr>
<tr><td>金属部分</td><td>りん青銅／ニッケルメッキ</td></tr>
</table>

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ P-02Dは防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。

電池パック、ACアダプタケーブル、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

■ タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。

タッチパネルが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ 通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタケーブルについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**

故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**

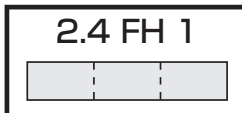
故障の原因となります。

■ **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**

故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- **本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **周波数帯について**
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH	：	変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1	：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. **本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.298）。**

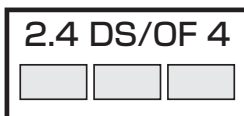
無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ **無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

■ **無線LANについて**
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ **周波数帯について**
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 DS/OF 4

2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：	変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
▭▭▭	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください（☞P.298）。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください（☞P.298）。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

本端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

P-02Dは、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にP-02Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

（注）実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。

雨の中やキッチン、風呂場、プールサイドなどの水際でもご使用できます。

■雨の中

- 雨の中で傘をささずに濡れた手で通話できます。（1時間の雨量が20mm未満、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）

※ 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子カバーの開閉は行わないでください。

■洗う

- 端末が汚れた場合は、洗面器などに張った真水・常温の水道水につけて静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗うことができます。
- リアカバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子カバーを押さえたまま洗ってください。
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。
- 洗い流したあとは表面を乾いた布でよく拭いて、水抜き（☞P.36）を行ったのち、自然乾燥させてください。

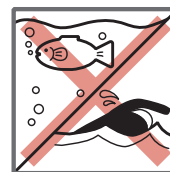
石けん·洗剤

■レジャー

海水·プール

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は所定の方法（☞P.30）で洗ってください。

■風呂場

温泉·入浴剤

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉には浸けないでください。
- 規定以上の強い水流（例：蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。

- 風呂場での長時間のご使用はお避けください。
- 寒いところから暖かい風呂場などに端末を持ち込むと、急激な温度変化による結露の原因となります。端末が常温になってから持ち込んでください。

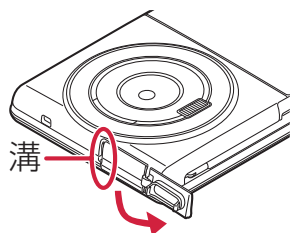
■キッチン

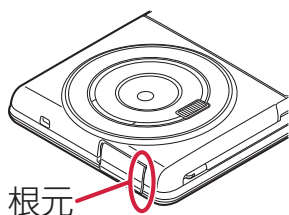
- 常温の真水や水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。外部接続端子カバーを閉じるときやリアカバーを取り付けるときは、カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 外部接続端子カバー、リアカバーが浮いていないようにしっかりと閉じていることを確認してください。確実に閉じていないと浸水の恐れがあります。
- 防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

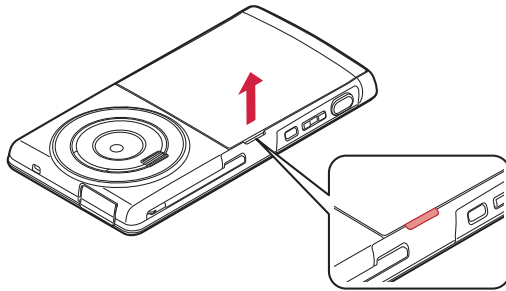
外部接続端子カバーを開ける

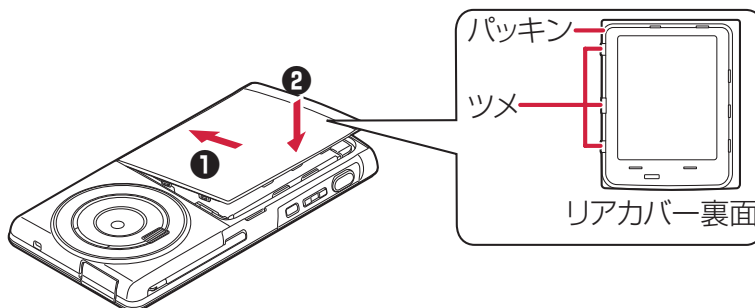
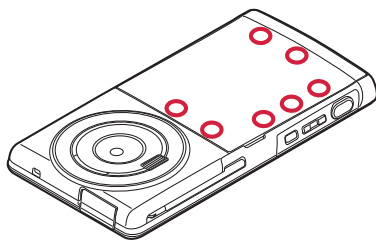
1 溝に指先をかけて矢印の方向に引っ張り出す

外部接続端子カバーを閉じる

1 端末と平行に揃えて外部接続端子カバーの根元部分をしっかり押さえながら押し込む

2 外部接続端子カバー全体に浮きがないことを確認する

リアカバーを取り外す

1 **端末の「　　」部分を利用して矢印の方向に持ち上げてリアカバーを取り外す**

- リアカバーは防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

リアカバーを取り付ける

1 **端末とリアカバーのツメを確実に合わせながら❶の方向に入れ、❷の方向に押し込む**

2 **○印部分（7箇所）をしっかりと押してリアカバー全体に浮きがないことを確認する**

注意事項

■端末について

- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。
  ・外部接続端子がショートする恐れがあります。
  ・ボタンなどの隙間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、端末に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

  水で濡れた場合は、リアカバーを取り付けた状態で外部接続端子カバーを閉じたまま水抜き（☞P.36）を行い、端末から出た水分を乾いたきれいな布で直ちに拭き取ってください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水性能の劣化を招くことがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 規定以上の強い水流に当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  ・送話口、受話口、スピーカー部の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  ・水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  ・外部接続端子カバー、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。

■外部接続端子カバー・リアカバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、外部接続端子カバーの隙間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーのパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水などの液体が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子カバーまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■送話口、受話口、スピーカー部について

- 送話口、受話口、スピーカー部の穴を尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

■その他

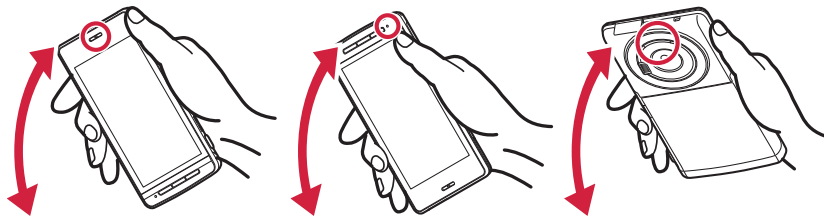
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに端末を取り付けた状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタケーブルを接続しない状態でも、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

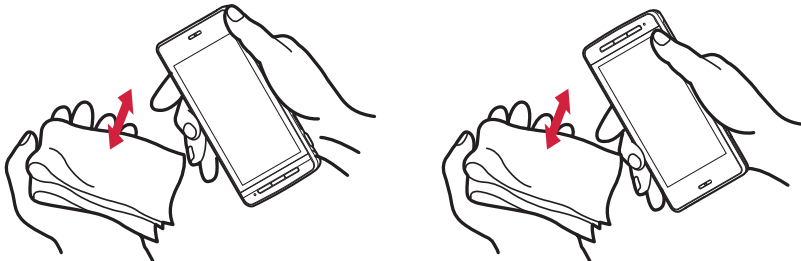
- 端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。
- ボタンなどの隙間から水分が入り込んでいる場合があります。

下記の手順で端末の水分を取り除いてください。

1 端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

2 端末を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る

＜受話口の水抜き＞　＜送話口の水抜き＞　＜スピーカーの水抜き＞

3 乾いたきれいな布に端末を軽く押し当て、送話口、受話口、スピーカー、ボタンなどの隙間に入った水分を拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 十分に水分を取り除いてからご使用ください

- 上記の手順を行っても、端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 端末が濡れた状態では絶対に充電しないでください。端末が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 外部接続端子カバーを開けて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。外部接続端子からの浸水を防ぐため、付属の卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手でACアダプタケーブル、卓上ホルダに触れないでください。
- ACアダプタケーブル、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りで使用しないでください。

各部の名称と機能

❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
⓬
⓭
⓮
⓯
⓰
⓱
⓲
⓳
⓴
㉑
㉒
㉓
NTT docomo
LUMIX
Phone
13.2
MEGA PIXELS
MULTI COAT FILTER

	名称	説明
❶	充電端子	―
❷	ストラップ取り付け穴	―
❸	受話口	相手の声がここから聞こえます。
❹	光センサー	周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。明るさを検知するために、センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。
	近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。
❺	ディスプレイ（タッチパネル）	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します（☞P.51）。
❻	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
❼	[☰]メニューボタン	現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。
❽	着信／充電ランプ	電話やspモードメールの着信時などに点滅します。 充電中に点灯します。
❾	[↶]バックボタン	直前の画面に戻ります。
❿	[⌂]ホームボタン	ホーム画面に戻ります（☞P.74）。 長く押して最近使用したアプリケーションのリストを表示します。アプリケーションを起動するにはサムネイルをタップします。リストからアプリケーションを削除するにはサムネイルを左右にフリックします。
⓫	ワンセグアンテナ	ワンセグを視聴するときに伸ばします（☞P.209）。
⓬	[⏻]電源ボタン	2秒以上押して電源をONにします（☞P.50）。 電源がONのときに1秒以上押して、マナーモード、機内モードの設定／解除や、電源OFFの操作をします。 スリープモードを設定／解除します（☞P.50）。

	名称	説明
⑬	▲／▼音量ボタン	相手の声やスピーカーの音量を調節します（☞P.106、P.135）。
⑭	◯[シャッター]シャッターボタン	カメラを起動します（☞P.190）。
⑮	外部接続端子	充電時に付属のmicroUSBケーブルを接続したり、イヤホン変換アダプタ（試供品）を接続したりします。
⑯	マーク	ICカードを搭載しています。このマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能を利用したり、対応するアプリケーションをダウンロードするとiC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外しできません。
⑰	フラッシュ	カメラ撮影時に点灯します。
⑱	リアカバー	リアカバー裏面のシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。
⑲	FOMAアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⑳	Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
㉑	スピーカー	着信音や音楽の再生音、ハンズフリー通話時に相手の声が聞こえます。
㉒	カメラ	静止画や動画を撮影します（☞P.189）。
㉓	赤外線ポート	赤外線通信に使用します（☞P.177）。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

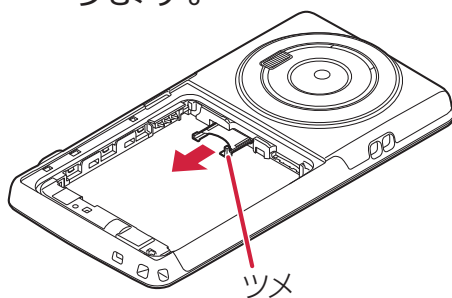
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

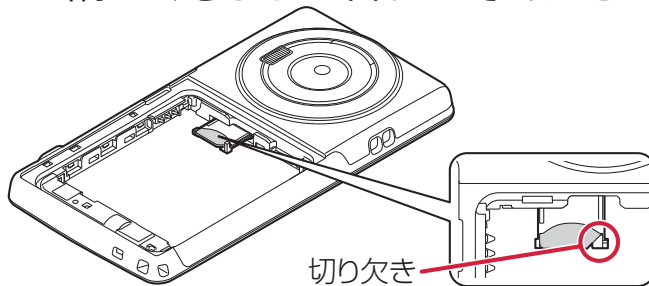
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

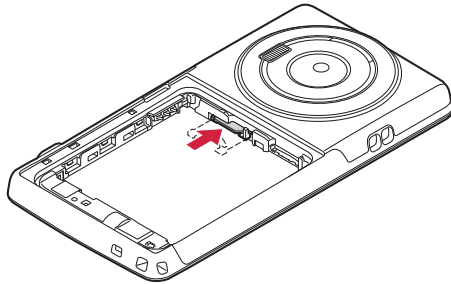
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください（☞P.45）。
- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 ツメの部分を引いて、止まるまでゆっくりトレイを引き出す

- トレイは外れませんので、停止位置を越えて引き出さないでください。トレイやツメが破損する場合があります。

2 金色のIC面を下にしてドコモminiUIMカードをトレイに挿入する

- ドコモminiUIMカードの切り欠き部分がトレイの右隅にくるように合わせてください。

3 ドコモminiUIMカードを奥に押し込む

- 固定されるまで確実に押し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 P.41「ドコモminiUIMカードを取り付ける」の手順1に従ってトレイを引き出し、ドコモminiUIMカードを取り出す

- ドコモminiUIMカードが半分程度見える位置までトレイを引き出したあと、ドコモminiUIMカードをスライドさせて引き抜いてください。

ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます（☞P.144）。

microSDカード

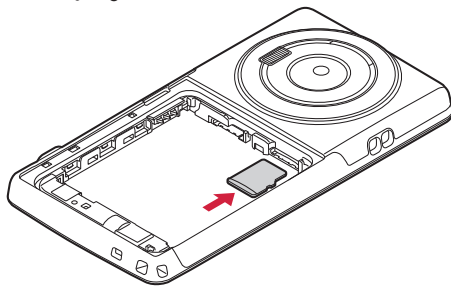
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2013年1月現在）。
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードの製造メーカーへお問い合わせください。
  http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください（☞P.45）。

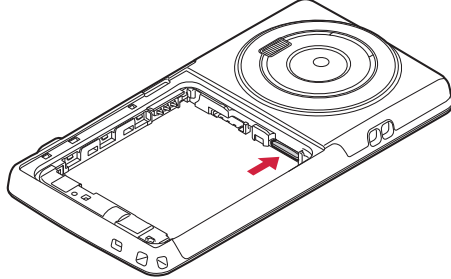
microSDカードを取り付ける

1 金属端子面を下にして、イラストの向きでmicroSDカード挿入口にロックするまで差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 microSDカードを軽く押し込む

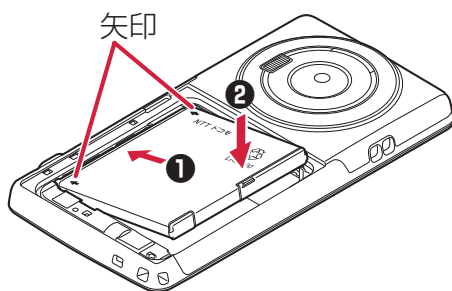
microSDカードが少し出ます。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す

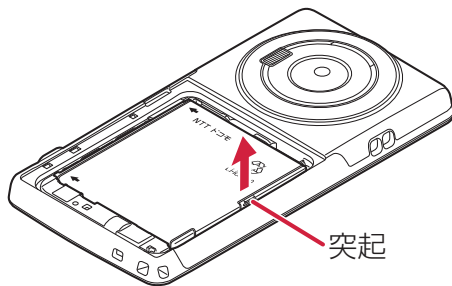
電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、端末の電源を切り、リアカバーを取り外してから行ってください（☞P.33）。

電池パックを取り付ける

1 **矢印面を上にして、端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、❶の方向に押し付けながら、❷の方向に押し込む**

電池パックを取り外す

1 **電池パックの突起を利用して、矢印の方向に持ち上げる**

充電

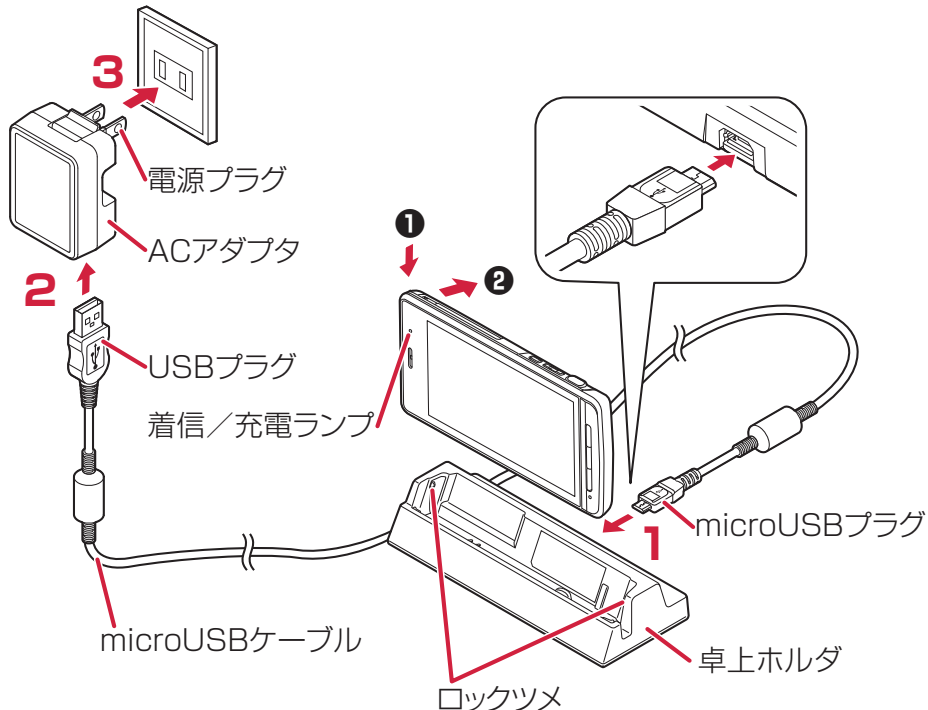
■ 充電時のご注意

- 付属のACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- ステータスバーに温度異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開いて表示された機能が使用できません。
- ステータスバーに充電異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開き、対処方法に従って操作してください。
- 充電したまま端末を長時間おくと、充電が終わったあと端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を開始してください。再充電の際は、端末を一度ACアダプタケーブル（または付属の卓上ホルダ）から外して再度セットし直してください。

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

卓上ホルダ P48を使って充電する

1 **付属のmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（⭠⭢）を上にして卓上ホルダの端子に水平に差し込む**

2 **microUSBケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタのUSBコネクタに水平に差し込む**

3 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む**

4 **端末を卓上ホルダに押し込み❶、そのまま端末をロックツメに合わせるように、「カチッ」と音がするまで奥側へ押し込む❷**

- 端末の向きを確認して、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

5 **充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえたまま端末を手前に倒して取り外す**

お知らせ

- 卓上ホルダとパソコンをmicroUSBケーブルで接続して充電することはできません。

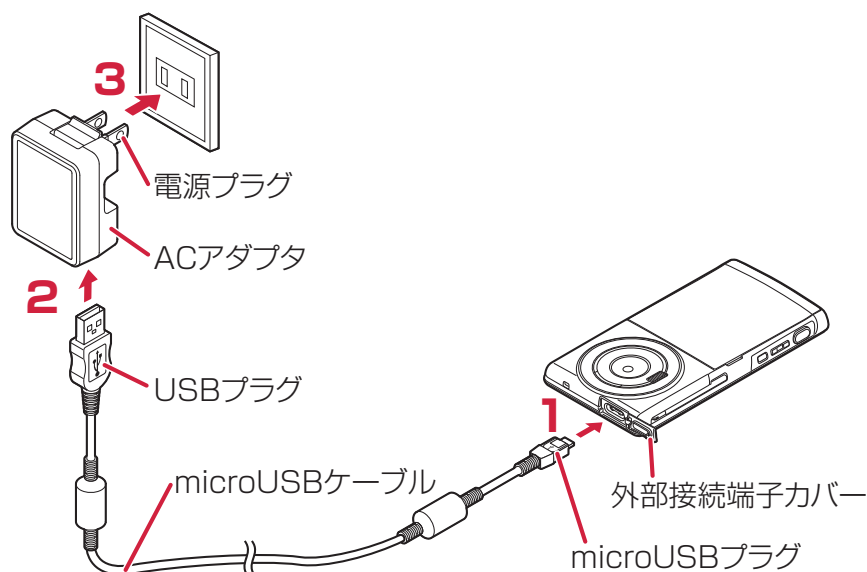
■充電中・充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤色で点灯	～
充電完了	消灯	

- 端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。もし、充電開始後に着信／充電ランプが長時間点灯しない場合は、端末から電池パックを一度外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

■電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、充電を促すメッセージが表示されます。電池残量がなくなると、電源を切る旨のメッセージが表示され、電源が切れます。

ACアダプタケーブル P01を使って充電する

1 **付属のmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（⭠）を上にして外部接続端子に水平に差し込む**

- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.32

2 **microUSBケーブルのUSBプラグを、USBマークを手前にしてACアダプタのUSBコネクタに水平に差し込む**

3 **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む**

4 **充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

5 **microUSBケーブルをACアダプタと端末から抜く**

パソコンを使って充電する

本端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続方法については☞P.187

電源

電源を入れる

1 を2秒以上押す

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 を1秒以上押す

- を10秒以上押すと、強制的に電源が切れます。

2 [電源を切る]▶[OK]

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 ／

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中にを押します。

ロック画面を解除する

1 をタップ

- [画面のロック]を設定している場合は、設定した解除方法を行います。
- [画面のロック]を[タッチ]に設定している場合は、通知パネルを開くことができます。
- をタップするとカメラを起動できます。

ロック画面

基本操作（タッチパネルの使いかた）

タッチパネルの操作

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  ・手袋をしたままでの操作
  ・爪の先での操作
  ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  ・タッチパネルが濡れたままでの操作
  ・指が汗や水などで濡れた状態での操作

■タップする

画面の項目やアイコンをトンとたたいて選択します。

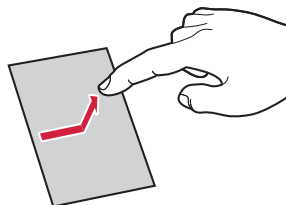
■ダブルタップする

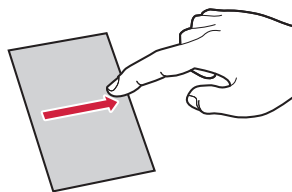
ウェブページを拡大したいときにすばやく2回続けてタップします。再度ダブルタップすると縮小します。

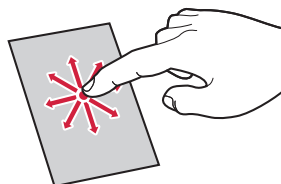
■ロングタッチする

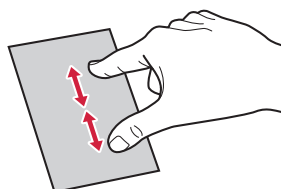
画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

■フリックする

複数のページやデータがあるときに画面を左右にすばやくはらうように触れると、前後の画面に切り替わります。

■ ドラッグする

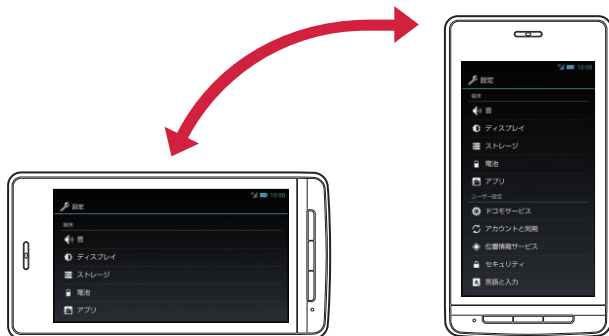
画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■ スクロールする

画面を上下左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。

■ ピンチする（広げる・狭める）

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、つまむ（ピンチイン）と縮小します。

お知らせ

- 確認メッセージなどがポップアップ表示されているときにメッセージ表示枠の外（ステータスバーを除く）をタップすると、操作を中止します。

縦／横画面表示を切り替える

端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

お知らせ

- 端末を垂直に近い状態で操作してください。水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

スクリーンショットを撮影する

表示中の画面を撮影し、撮影したスクリーンショットを保存します。

1 ⏻と▮を同時に1秒以上押す

シャッター音が鳴り、スクリーンショットを撮影します。ステータスバーに通知アイコンが表示され、撮影したスクリーンショットがmicroSDカードに保存されます。

- 通知パネルを開いて通知をタップすると、撮影したスクリーンショットを表示できます。

お知らせ

- 著作権で保護されたコンテンツの再生中にスクリーンショットを撮影すると、コンテンツの画像部分が撮影できない場合があります。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

ステータスバーには端末の状態を示すアイコンが表示されます。
ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

■主な通知アイコン

アイコン	説明	参照先
	新着Gmail	P.164
	新着Eメール	P.161
	新着spモードメール	P.157
	新着メッセージ（SMS）	P.158
	メッセージ（SMS）の送信失敗	P.158
	留守番メッセージ	P.118
talk	新着インスタントメッセージ	P.168
	カレンダーの予定	P.225
	楽曲再生中	P.201
	Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能	P.95
	Bluetooth通信でファイル着信	P.182
	VPN接続中	P.186
	USB接続中	P.187
	USBテザリング利用中	P.131
	Wi-Fiテザリング利用中／Wi-Fi Direct利用中	P.132 P.133
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中	P.131 P.132
	GPS測位中	P.141
	エラーメッセージ	−
	通話中	P.99

アイコン	説明	参照先
	不在着信	P.107
	通話保留中	P.106 P.121
	データのアップロード	－
	データのダウンロード	－
	Playストアなどからのアプリケーションがインストール完了	P.203
	Playストアのアプリケーションがアップデート可能	P.203
	非表示の通知あり	P.57
	microSDカードのマウント解除	P.137
	ワンセグ通知	P.209
	データ放送のセキュリティ保護ページに接続中	P.210
	スクリーンショットの保存	P.53
	おまかせロック設定中	－
	ecoモード中	P.231
	Psmartの更新通知あり	P.156
	温度異常	P.46
	充電異常	P.46

■主なステータスアイコン

アイコン	説明	参照先
	電波状態	－
	ローミング中	P.237
	圏外	－
	3G（パケット）接続中	－
	3G（パケット）使用中	－
	機内モード	P.130
	Wi-Fi接続中	P.95
（グレー）	Bluetooth機能ON	P.181

アイコン	説明	参照先
（青色）	Bluetooth機器接続中	P.181
	おサイフケータイ ロック設定中	P.219
	ドコモminiUIMカード未挿入	P.41
	アラーム設定中	P.222
	スピーカーフォン ON	P.106
	マイク ミュート	P.106
	マナーモード（サイレント）	P.103
	マナーモード（バイブレーション）	P.103
	要充電	P.46
	電池残量が少ない	P.46
	電池残量十分	P.46
	充電中	P.46

通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。通知パネルから設定メニューを表示したり、各種設定を変更したりすることもできます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグ

ひつじのしつじくん®
© NTT DOCOMO

❶ 設定メニューを表示します（☞P.126）。

❷ エコナビを起動します（☞P.231）。

❸ 各種設定を変更します。
[ecoモード]：ecoモードの状態を切り替えます（☞P.231）。
[マナー]：マナーモードを設定／解除します（☞P.103）。
[明るさ]：画面の明るさを変更します（☞P.136）。
[Wi-Fi]：Wi-FiのON／OFFを切り替えます（☞P.95）。
[Bluetooth]：Bluetooth機能のON／OFFを切り替えます（☞P.181）。
[GPS]：GPS機能のON／OFFを切り替えます（☞P.141）。
[自動同期]：自動同期のON／OFFを切り替えます（☞P.140）。
[自動回転]：画面の自動回転のON／OFFを切り替えます（☞P.136）。

❹ タップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

- [×]をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のバーを上にドラッグ、または[↩]を押す

文字入力

本端末では、文字入力欄をタップし、表示されるキーパッドを使用して文字を入力できます。また、手書きで文字を入力することもできます。

入力方法を切り替える

1 文字入力欄をタップ▶通知パネルを開く

- ステータスバーにが表示されている状態で通知パネルを開いてください。

2 [入力方法の選択]▶利用したい入力方法を選択

- ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[言語と入力]▶[デフォルト]をタップしても、入力方法を切り替えることができます。

フィットキーで入力する

以下の2種類のキーパッドを切り替えて、文字を入力します。

■テンキーパッド

日本語をかな入力で行う場合に使用します。

■QWERTYキー（フルキー）パッド

日本語をローマ字入力で行う場合に使用します。

テンキーパッドで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドのをロングタッチ

2 [テンキー⇔フルキー]

- キーパッドを閉じるには[↩]を押します。

❶	現在使用している入力モードを表示します。 あ：ひらがな漢字　A：全角英字　12：半角数字 カ：全角カタカナ　AB：半角英字　☺(^^)：絵文字／記号 ｶﾅ：半角カタカナ　1：全角数字
❷	文字を逆順で表示します。 確定した直後にタップすると、確定前の表示に戻ります。
❸	カーソルを左右に移動します。
❹	絵文字／記号入力モードに切り替えます。 ロングタッチすると、定型文などを利用できます。
❺	タップするたびに英字／数字／かな入力モードを切り替えます。 入力モードごとにロングタッチ▶[テンキー⇔フルキー]をタップして、テンキーパッドとQWERTYキーパッドを切り替えます。 ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えたり、音声入力を利用したりできます。
❻	キーに割り当てられている文字を入力します。 目的の文字が表示されるまで続けてタップする方法や、文字入力キーをタッチしたまま、目的の文字の方向にフリックする方法があります。
❼	カーソルの左側にある文字を削除します。
❽	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❾	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。

QWERTYキーパッドで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドの あA1 をロングタッチ

2 [テンキー⇔フルキー]

- キーパッドを閉じるには［⤺］を押します。

❶	キーに表示されている文字を入力します。
❷	大文字／小文字を切り替えます。
❸	タップするたびに英字／数字／ローマ字入力モードを切り替えます。 入力モードごとにロングタッチ▶[テンキー⇔フルキー]をタップして、テンキーパッドとQWERTYキーパッドを切り替えます。 ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えたり、音声入力を利用したりできます。
❹	絵文字／記号入力モードに切り替えます。 ロングタッチすると、定型文などを利用できます。
❺	スペースを入力します。
❻	カーソルの左側にある文字を削除します。
❼	入力した文字を確定したり、改行したりします。
❽	カーソルを左右に移動します。

絵文字や記号を入力する

絵文字／記号入力モードでは、絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を利用できます。文字入力欄によっては、絵文字D／絵文字が入力できない場合があります。

1 文字(^^)をタップして絵文字／記号入力モードに切り替える

❶	絵文字D／絵文字／記号／顔文字入力を切り替えます。
❷	画面を上下にスクロールして、入力したい絵文字D／絵文字／記号／顔文字をタップします。 • 最近使用した絵文字や記号が一覧上部に表示されます。
❸	絵文字／記号入力モードを終了します。
❹	画面を上下にスクロールします。 • 絵文字D一覧、絵文字一覧、顔文字一覧ではカテゴリ単位で画面を上下にスクロールできます。
❺	カーソルの左側にある絵文字D／絵文字／記号／顔文字を削除します。

手書きで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶通知パネルを開く

- ステータスバーに[keyboard icon]が表示されている状態で通知パネルを開いてください。

2 [入力方法の選択]▶[クイック手書き]

- ホーム画面▶[menu]▶[本体設定]▶[言語と入力]▶[デフォルト]をタップしても、入力方法を切り替えることができます。

3 文字入力枠に手書きで入力

❶	入力可能な文字を表示します。 [漢]：漢字／ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号 [A1]：英字／数字／記号 [12]：数字／記号 • 利用するアプリケーションによって自動で切り替わります。
❷	認識された文字が表示されます。 • 表示された文字をタップすると、認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。文字を訂正した場合、以降同様の文字（筆跡）を入力すると訂正した文字で認識されます。
❸	文字入力枠内に手書きで文字を入力します。 文字を入力すると、予測変換候補が表示されます。 • 文字入力枠をピンチアウト／ピンチインすると、枠を1マス／2マス／6マスに切り替えます。
❹	カーソルの左側にある文字を削除します。

❺	スペースを入力します。 文字入力時にタップすると、変換候補を表示します。
❻	絵文字／記号入力モードに切り替えます。 文字入力時にタップすると、全角／半角を切り替えます。 ロングタッチするとクイック手書きのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。
❼	カーソルを左右に移動します。 • 文字入力時にカーソルを移動すると、認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。文字を訂正した場合、以降同様の文字（筆跡）を入力すると訂正した文字で認識されます。
❽	入力した文字を確定したり、改行したりします。 起動している機能を、入力した文字で実行します。
❾	英数／記号をキーボードで入力します。
❿	クイック手書きのメニューが表示され、設定を変更したり、定型文などを利用したりできます。

文字入力時のメニュー

文字をコピー／切り取り／貼り付ける

1 文字を入力▶入力した文字をロングタッチ

2 スライダーを上下左右にドラッグして文字を選択

：すべての文字を選択します。
：選択している文字を切り取ります。
：選択している文字をコピーします。

- コピー／切り取りした文字を貼り付ける場合は、文字入力欄をロングタッチして[貼り付け]をタップします。貼り付けたい位置にスライダーを移動した場合など、[貼り付け]が表示されていない場合は、をタップ、またはスライダーをタップして[貼り付け]をタップします。

定型文を登録する

1 **文字入力欄をタップ**

2 **フィットキーの場合**
をロングタッチ▶[定型文入力]

- [マッシュルーム]を[使用する]に設定しておく必要があります（☞P.66）。

クイック手書きの場合
をタップ、またはをロングタッチ▶[定型文]

3 **[ユーザーオリジナル]▶ ▶[新規登録]**

4 **登録したい定型文を入力▶[保存]**

文字入力の設定

文字入力に関する各種設定を行うことができます。

フィットキーの設定

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[言語と入力]**

2 **[フィットキー]のをタップ▶以下の操作を行う**

キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。
キー操作バイブ	キーをタップするたびに振動します。
フリックガイド	フリックガイドを表示します。
自動大文字変換	英字入力時に文頭文字を大文字にします。
自動スペース入力	英字入力モードで予測候補を選択したときに、スペースを自動で入力するかどうかを設定します。
キーボードタイプ	画面の向き、入力モードごとにキーボードのタイプを設定します。
音声入力	音声入力を利用するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	横画面表示のとき、文字入力欄を広げて表示します。
フリック入力	フリック方式の入力を有効にします。

フリック感度	フリック入力時のスライド感度を指定します。
トグル入力	フリック入力有効時もトグル入力を有効にします。
自動カーソル移動	文字入力時に自動でカーソルが移動する速度を設定します。
候補学習	変換で確定した語句を学習します。
予測変換	文字を入力すると変換候補を表示します。
入力ミス補正	入力間違いの修正候補を表示します。
ワイルドカード予測	読みの文字数から変換候補を推測します。
候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
マッシュルーム	マッシュルーム拡張を使用します。
日本語ユーザー辞書	☞P.68
英語ユーザー辞書	英語ユーザー辞書の単語を編集します。
学習辞書リセット	☞P.69
ダウンロード辞書	ダウンロード辞書を有効にするかどうかを設定します。
iWnn IME	iWnn IMEのバージョンなどが表示されています。

クイック手書きの設定

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[言語と入力]

2 [クイック手書き]の🔧をタップ▶以下の操作を行う

入力	入力方式	文字入力枠数を設定します。
	文脈補正	文字認識時に、文脈補正機能を利用するかどうかを設定します。
	自動確定	入力した文字が確定するまでの速度を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	文字入力枠位置	文字入力枠の位置を設定します。 • 入力方式が1マス入力のときのみ設定できます。
	日本語アドレス入力	URL／Eメールアドレス入力時に、日本語入力を有効にします。
	全角空白入力	文字入力時に、スペースを全角で入力するかどうかを設定します。
	全角半角優先設定	文字入力時の全角／半角入力を、文字種や記号ごとに個別に設定します。
	英数ダイレクト入力	英数入力時のキーボード配列を設定します。
変換	予測変換	文字入力時に変換候補を表示します。
	候補学習	変換で確定した語句を学習します。
	誤認識補正	認識間違いの修正候補も含めて、変換候補を表示します。
	ユーザー辞書	☞P.68
	候補学習リセット	☞P.69
操作音	キー操作音	キーをタップするたびに音を鳴らします。
バイブレーション	文字記入バイブ	文字入力枠に記入したときに、振動させるかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、振動させるかどうかを設定します。

デザイン	キーポップアップ	文字入力時にタップしたキーを拡大表示します。
マッシュルーム		マッシュルーム拡張を使用します。
ダウンロード辞書		ダウンロード辞書を有効にするかどうかを設定します。
初期化		クイック手書きの設定をお買い上げ時の設定に戻します。 • ユーザー辞書と候補学習はリセットされません。
クイック手書き		クイック手書きのバージョンなどが表示されています。

ユーザー辞書に登録する

かな入力モードでよく使う単語を日本語ユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[言語と入力]

2 **フィットキーの場合**

[フィットキー]のをタップ▶[日本語ユーザー辞書]

- 半角英字入力モードで使用する英単語を登録する場合は、[英語ユーザー辞書]をタップします。

クイック手書きの場合

[クイック手書き]のをタップ▶[変換]▶[ユーザー辞書]

3 ☰ ▶[登録]

4 [読み]の文字入力欄をタップ▶読みを入力

5 [表記]の文字入力欄をタップ▶単語を入力

6 [保存]

学習辞書をリセットする

一度入力した語句は自動的に記憶され、予測変換で変換候補として表示されます。学習辞書をリセットすると、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[言語と入力]

2 フィットキーの場合

[フィットキー]の🔧をタップ▶[学習辞書リセット]

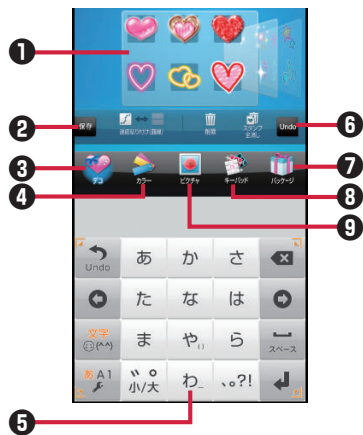
クイック手書きの場合

[クイック手書き]の🔧をタップ▶[変換]▶[候補学習リセット]

3 [OK]

フィットキーのカスタマイズ

自分の手に合わせてキーパッドのサイズや位置を調節できます。また、キーパッドをスタンプでデコレーションしたり、色や背景、キー形状を変更できます。

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドの[あA1]をロングタッチ▶[カスタマイズ]

❶ パレット
左右にフリックして選択します。
❷ 編集データを保存します。
❸ スタンプ設定画面に切り替えます。
❹ カラー設定画面に切り替えます。
❺ キーパッドプレビュー
❻ キーパッドを1つ前の状態に戻します。
❼ パッケージ設定画面に切り替えます。
❽ キー形状設定画面に切り替えます。
❾ 背景設定画面に切り替えます。

2 キーパッドプレビューの四隅にあるガイドアイコンを外側／内側へドラッグしてサイズを決める▶キーパッドプレビューをドラッグして位置を決める

- 文字入力欄がキーパッドや候補表示で隠れてしまう場合、キーパッドのサイズを縮小することで文字入力欄を表示させることができます。

3 スタンプを貼り付ける場合

[デコ]▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーパッドプレビューで貼り付けたい位置をタップ▶必要に応じてスタンプの操作を行う(☞P.73)

色を変更する場合

[カラー]▶パレットを選択

- スライダーをドラッグして、色の透過率を調節します。
- [グラデーションON／OFF]をタップして、グラデーション／単色を切り替えます。

背景を変更する場合

[ピクチャ]▶パレットを選択

- microSDカードに最近保存した静止画から選択できます。他の静止画を選択したい場合は、[すべて見る]をタップします。
- [背景写真をアクティブ]をタップすると、静止画の表示位置を調節できます。
- 静止画を撮影して背景に設定するには、[カメラ起動]▶被写体をキーパッドプレビューに表示▶をタップします。

キー形状を変更する場合

[キーパッド]▶パレットを選択

パッケージから選択する場合

[パッケージ]▶パレットを選択

- [初期状態に戻す]▶[はい]をタップすると、キーパッドがお買い上げ時の状態に戻ります。
- [赤外線受信]／[赤外線送信]をタップすると、赤外線通信でパッケージを受信／送信できます。
- [SDから読み込み]をタップすると、パッケージをmicroSDカードから読み込んで選択することができます。
- [SDに保存]をタップすると、パッケージがmicroSDカードのKeyboardCustomizeフォルダにあるPackagesフォルダに保存され、保存した日時がファイル名になります（たとえば、2012年10月18日午前10時0分5秒に保存したファイルは「2012-10-18_10_00_05.pkg」となります）。
- 本端末をパソコンに接続すると、microSDカードに保存したパッケージデータを削除することができます（☞P.187）。

4 編集が完了したら[保存]▶[はい]

編集データがパッケージとして本端末に保存され、キーパッドに反映されます。

- パッケージは本端末に5つ保存できます。

■キーパッドプレビューでのスタンプの操作

スタンプをタップすると、スタンプの周囲にスタンプガイドが表示されます。

操作	手順
移動	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をドラッグ
等倍に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの周辺に指を置き、ピンチアウト／ピンチイン
縦／横に拡大／縮小	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅を拡大／縮小したい方向にドラッグ
回転	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの隅の外側を回転したい方向になぞる
コピー＆ペースト	スタンプガイドを表示▶スタンプガイドの中央をロングタッチ▶貼り付けたい位置をタップ • タップするたびにスタンプが貼り付けられます。終了するには[コピー]をタップします。
削除	スタンプガイドを表示▶[削除] • [削除]▶削除したいスタンプをタップしても削除できます。
すべて削除	[スタンプ全消し]▶[はい]
連続貼り付け	[連続貼り付け]をタップして（直線）／（曲線）を選択▶パレットを選択▶貼り付けたいスタンプをタップ▶キーパッドプレビューを指でなぞる

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、⌂を押すと表示されます。
ホームアプリには、"タッチスピードセレクター"、docomo Palette UI、フィットホームの3種類があります。ここではdocomo Palette UIの操作を説明します。

ひつじのしつじくん®
© NTT DOCOMO

❶ インジケーター
ホーム画面の現在位置が表示されます。最大12シートまで表示され、画面を左右にフリックして切り替えられます。[パーソナルエリア]では契約内容などを確認できます。

❷ クイック検索ボックス（☞P.77）

❸ ショートカット、ウィジェット、フォルダ、グループを自由に配置できます。

❹ すべてのシートに表示され、アプリケーション一覧画面を表示します。

❺ ドック
すべてのシートに表示され、ショートカット、フォルダ、グループを配置できます。

お知らせ

- ホームアプリを別の種類に切り替えた場合、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットなどが正しく表示されない場合があります。

■ New!アイコンについて

New!アイコンとは、新規に購入（ダウンロード）したアプリケーションを通知するマークのことで、ホーム画面、アプリケーション一覧画面の新規アプリケーションの上にが表示されます。はアプリケーションを起動すると消去されます。

ホーム画面にショートカットなどを追加する

1 ホーム画面▶背景部分をロングタッチ

- アプリケーション一覧画面で対象のアプリケーションやグループをロングタッチし、[ホームへ追加]をタップしても追加できます。

2 [ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]／[グループ]

3 追加したいショートカットなどを選択

4 ホーム画面に追加されたショートカットなどをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ

フォルダ名を変更する

1 フォルダをタップ▶タイトルバーをロングタッチ

- フォルダをロングタッチし、[名称変更]をタップしても変更できます。

2 フォルダ名を入力▶[OK]

ショートカットを削除する

1 ホーム画面▶削除したいショートカットなどをロングタッチして、にドラッグ

- にドラッグすると、ショートカットのアイコンが赤色に変わります。
- ショートカットなどをロングタッチし、[削除]をタップしても削除できます。

ドックのショートカットなどを変更する

1 **ホーム画面▶ショートカットなどをロングタッチして、ドックにドラッグ**

- ドックのショートカットなどを削除するには、ショートカットをロングタッチして、🗑にドラッグします。

アプリケーションやウィジェットをアンインストールする

1 **ホーム画面▶アンインストールしたいアプリケーションやウィジェットをロングタッチ▶[アンインストール]▶[OK]**

- アプリケーション一覧画面で対象のアプリケーションをロングタッチし、[アンインストール]▶[OK]をタップしてもアンインストールできます。

ホーム画面のきせかえを変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[きせかえ]**

2 **きせかえを選択▶[設定する]**

ホーム画面の壁紙を変更する

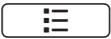
1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[壁紙]**

2 **壁紙の種類をタップ▶画像を選択**

- [ギャラリー]／[ピクチャアルバム]で画像を選択した場合は、トリミングする位置を決定し、[トリミング]をタップして設定完了です。

3 **[壁紙に設定]**

ホーム画面を追加する

1 ホーム画面▶[menu]▶[ホーム画面一覧]▶[＋]

- [＋]はホーム画面が11シート以下の場合に表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ

- ホーム画面を削除するには、[×]をタップするか、ホーム画面のサムネイルをロングタッチして[削除]をタップします。

端末内のアプリやウェブページの情報を検索する

1 ホーム画面▶クイック検索ボックスの入力欄をタップ

- [マイク]をタップすると、音声検索ができます。
- アプリケーション一覧画面▶[menu]▶[検索]をタップしても検索できます。
- [menu]▶[設定]をタップすると、検索対象の種類や設定を変更できます。

2 キーワードを入力

入力中の文字を含む検索候補が表示されます。

3 [検索]

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。
- 候補リストから起動したいアプリケーションや、表示したいウェブページを選択しても検索できます。

アプリケーション画面

アプリケーション一覧画面を表示する

アプリケーション一覧画面では、インストールされているアプリケーションがグループ別に表示されます。

1 ホーム画面▶

ひつじのしつじくん®
© NTT DOCOMO

❶ グループ名とアプリケーション数が表示されます。グループをタップして、アプリケーションアイコンの表示／非表示を切り替えられます。

❷ 各グループのアプリケーション一覧を表示します。

アプリケーション一覧

お買い上げ時に搭載されているアプリケーションの一覧です。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- アプリケーションの初回使用時、Playストアからのアプリケーションのインストールが必要となる場合があります。
- アプリケーションによっては、microSDカードを挿入していないと動作しないものがあります。microSDカードを挿入してご利用ください。

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	BOOKストア マイ本棚	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。	－
	DLNA	Wi-Fi通信を利用して、DLNA対応機器とのデータのやりとりができます。	P.184
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Playストア上のアプリを紹介しています。	－
	dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。	－
	Facebook	Facebookにログインして、ニュースフィードのチェックや投稿、メッセージの送受信、写真の共有などができます。	－
	Flash Player Settings	Adobe® Flash® Playerについての設定を行うアプリです。	－
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.163
	Google+	Google+にログインして、他のユーザーとリンクや写真などを共有したり、メッセンジャーを利用してグループでチャットを行ったりできます。	－

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	Gガイド番組表	地上波・BSの番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグの視聴・録画予約、外出先からの遠隔録画も可能です。	–
	iD設定アプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリです。	P.236
	ｉコンシェル	ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。	–
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。	–
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあうことができます。	P.207
	Movie Studio	動画を編集できます。	–
	Playストア	Playストアを利用できます。	P.203
	Playブックス	Playストア上で電子書籍を購入して閲覧できます。	–
	Playミュージック	音楽を再生します。	–
	Playムービー	Playストア上の映画をレンタルして視聴できます。	–
	Polaris Office	Officeドキュメントの編集／閲覧や、PDFファイルの閲覧ができます。	P.234
	SDカードバックアップ	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。	P.229
	SDビデオ	ワンセグの録画データやブルーレイディスクレコーダーで録画した動画を再生できます。	P.215

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。	P.157
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。	–
	YouTube	YouTubeの動画の再生、投稿ができます。	P.221
	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。	–
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。	P.166
	オートGPS	お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせするオートGPS対応サービスをご利用になるためのアプリです。	–
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます。	P.217
	カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.189
	カレンダー	スケジュールを管理できます。	P.224
	ギャラリー	静止画や動画を表示できます。	–
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。	–
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルの一覧を表示します。	–
	タスクビューア	起動中のアプリケーションを確認、終了できます。	–
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。	P.168

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」もしくは「電話帳バックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。	–
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービス、緊急通報位置通知にて位置情報を提供するためのアプリです。 また、各種設定変更や設定サイト・サービスサイトへのアクセスができます。	–
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。	P.220
	ナビ	目的地への道案内を取得できます。	P.207
	ニュースと天気	気象情報やニュースを表示できます。	–
	バーコードリーダー	バーコードやQRコードをカメラで読み取ります。	P.232
	ピクチャアルバム	静止画や動画を表示します。また、ピクチャジャンプを利用してファイルのアップロードなどを行ったりできます。	P.197
	ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。	P.171
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。	–
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、ｉコンシェルインフォメーションやメール受信や着信などの情報をおしらせします。	–
	マップ	現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。	P.206
	メール	パソコンなどとEメールの送受信ができます。	P.160
	メッセージ	メッセージ（SMS）の送受信ができます。	P.158

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	メッセンジャー	Google+と連携して、グループでチャットができます。	－
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。	P.201
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。 iコンシェルサービスに対応しています。	P.227
	モバゲー	Mobage提供のコンテンツを楽しむためのアプリです。	－
	ローカル	近くにあるお店や施設をジャンル別に検索できます。	P.206
	ワンセグ	ワンセグの視聴や録画ができます。	P.208
	検索	端末内のアプリやウェブページの情報を検索します。	P.77
	声の宅配便	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。	P.124
	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。	－
	赤外線	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。	P.177
	設定	本端末の各種設定を行います。	P.126
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。	－
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。	P.228
	電話	電話をかけることができます。	P.99
	電話帳	電話帳の登録、管理ができます。	P.108
	電話帳コピーツール	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。	P.115
	時計	時刻を表示したり、アラームを設定したりできます。	P.222

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	P.4
	名刺作成	「電話帳」アプリ内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリです。	－

アプリケーションを移動する

1 **アプリケーション一覧画面▶アプリケーションをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

グループを追加する

1 **アプリケーション一覧画面▶[☰]▶[グループ追加]**

2 **グループ名を入力▶[OK]**

3 **グループをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

- グループ名や色を変更するには、グループをロングタッチし、[名称変更]／[ラベル変更]をタップします。
- グループを削除するには、グループをロングタッチし、[削除]をタップします。

アプリケーション一覧画面のレイアウトを変更する

1 **アプリケーション一覧画面▶[☰]▶[リスト形式]／[タイル形式]**

「おすすめ」アプリケーションのインストール

1 **アプリケーション一覧画面▶[おすすめ]タブ**

2 **[もっとアプリを見る]をタップ**

ブラウザが起動し、dメニューが表示されます。

- ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されている場合は、アプリケーションをタップするとダウンロード画面が表示されます。
- ダウンロードしたアプリケーションは、[アプリ]タブの[ダウンロードアプリ]グループに表示されます。

ホームアプリの情報

バージョン情報

1 **ホーム画面▶ ▶ ▶[アプリケーション情報]**

ホームアプリのバージョンなどを表示します。

ホームアプリの設定

壁紙の表示をループさせるかどうかを設定します。

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[壁紙ループ設定]**

初期設定

初期設定

お買い上げ後、はじめて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントやGPSの位置情報の設定を行います。

1 **[開始]▶[アカウントを作成]**

- 初期設定実行中に機能バージョンアップの案内画面が表示されたときは、[OK]をタップし、ドコモサービスについての設定を行います。
- Androidが表示されている画面で表示されている言語をタップすると、使用する言語を変更できます。
- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。
- Googleアカウントを設定しない場合は、[今は設定しない]をタップします。

2 **Googleアカウントに登録する姓名を入力▶[次へ]**

3 **希望するユーザー名（@gmail.comの前の部分）を入力▶[次へ]**

4 **パスワードを入力▶確認のためパスワードを再入力▶[次へ]**

5 **予備のメールアドレス欄にすでにお持ちのメールアドレスを入力▶セキュリティ保護用の質問欄で質問を選択▶回答欄に任意の答えを入力▶[次へ]**

- パスワードをお忘れになった場合、Googleのホームページでセキュリティ保護用の質問に回答するか、予備のメールアドレスにパスワード再設定用のリンクを送信すればパスワードを再度設定できます。

6 **[Google+に参加する]▶[次へ]**

- Google+に参加しない場合は、[今は設定しない]をタップします。

7 **性別を選択▶Google利用規約などを確認▶[同意する]**

8 **アプリケーション購入についての設定を行う▶[保存]**

- 設定しない場合は[スキップ]をタップします。

9 **バックアップについての内容を確認▶[次へ]**

10 **位置情報についての内容を確認▶[次へ]**

11 **[完了]**

Googleアカウント

Googleアカウントを設定すると、Playストアからのアプリケーションのダウンロードなどが可能となります。すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、既存のアカウントを本端末でご利用いただけます。

1. **ホーム画面▶[☰]▶[本体設定]▶[アカウントと同期]**
2. **[アカウントを追加]▶[Google]▶[新しいアカウント]**
   - すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[既存のアカウント]をタップします。
3. **P.87「初期設定」手順2～8の操作を行う**
4. **同期するデータにチェックを付ける▶[次へ]**

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。ただし、契約内容によっては設定が異なる場合があります。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]**

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶［☰］▶[新しいAPN]**

3 **[名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]**

4 **[APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶［☰］▶[保存]**

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントが自動で切り替わらないようにする

[アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けていると、設定中のアクセスポイントが自動で切り替わらないようになります。

- 意図しない料金の発生などを防ぐため、お買い上げ時はアクセスポイントが自動で切り替わらないように設定されています。設定を変更すると、アクセスポイントが自動で切り替わることがあるため、意図しない料金が発生したり、通信できなくなる場合がありますのでご注意ください。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント切替抑止]にチェックを付ける**

- [アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けていても、テザリングを有効にした場合や、ソフトウェア更新を行った場合は、アクセスポイントが自動で切り替わります。
- [アクセスポイント切替抑止]にチェックを付けている場合、アプリケーションによっては正常に動作しないことがあります。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶ ☰ ▶[初期設定にリセット]**

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1. **ホーム画面▶［☰］▶[本体設定]▶[その他...]**

2. **[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]▶[mopera U（スマートフォン定額）]／[mopera U設定]にチェックを付ける**

お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- [mopera U（スマートフォン定額）]をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Eメール設定

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイントを設定してください（☞P.90）。

mopera Uのメールアカウントを設定する

mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、mopera Uメールをご利用になれます。

■POPサーバーを利用する場合

1 ホーム画面▶ ▶[メール]

2 mopera UメールアドレスとmoperaUのパスワードを入力▶[次へ]▶[POP3]

3 mopera Uのユーザー名とパスワードを入力▶POP3サーバーに[mail.mopera.net]を入力

4 セキュリティの種類欄で[なし]またはセキュリティを選択▶入力内容を確認▶[次へ]

5 SMTPサーバーに[mail.mopera.net]を入力▶mopera Uのユーザー名とパスワードの入力内容を確認▶[次へ]

6 メール自動確認の頻度などを設定▶[次へ]

7 送信メールに表示される名前を入力▶[次へ]

一般プロバイダのメールアカウントを設定する

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 **ホーム画面▶ ▶[メール]**

2 **メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]**

3 **画面に従って操作する**

お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、手順2で[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力します。
- 別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面▶ ▶[設定]▶[アカウントを追加]をタップします。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 ホーム画面▶ [☰] ▶[本体設定]▶[Wi-Fi]

2 「Wi-Fi」をONにする

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

- 手動でWi-Fiネットワークを登録する場合は、[ネットワークを追加]▶必要な情報を入力▶[保存]をタップします。
  セキュリティは[なし]／[WEP]／[WPA/WPA2 PSK]／[802.1x EAP]から選択します。

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。
- [パスワードを表示する]にチェックを付けると、入力中のパスワードが表示されます。
- [詳細オプションを表示]にチェックを付けると、詳細な設定を行うことができます。
- 接続中のWi-Fiネットワークを切断する場合は、Wi-Fiネットワークを選択して[切断]をタップします。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、[接続が制限されています]と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても[接続が制限されています]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。
  ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[ドコモサービス]▶[Wi-Fi]▶[Wi-Fiオプションパスワード]をタップして設定します。

■ WPSについて

アクセスポイントが「WPS」に対応しているときは、簡単な操作でアクセスポイントに接続できます。
WPSボタン方式で接続する場合は、手順3で[WPSボタン]▶[登録]をタップし、アクセスポイントのWPSボタンを押します。
WPS PINコード方式で接続する場合は、手順3で[詳細オプションを表示]にチェックを付けて[このデバイスのPIN]を選択し、端末に表示されたPINコードをアクセスポイントに入力します。

■ 利用できるチャンネルについて

本端末のWi-Fi機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g/n）とBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetoothを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

オープンネットワークを通知する

Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Wi-Fi]**

2 **☰ ▶[詳細設定]▶[ネットワークの通知]にチェックを付ける**

スリープモード時の動作を設定する

スリープモード時や、充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Wi-Fi]**

2 **☰ ▶[詳細設定]▶[スリープ時にWi-Fi接続を維持]▶設定したい動作を選択**

MACアドレスやIPアドレスを確認する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Wi-Fi]**

2 **☰ ▶[詳細設定]**

「MACアドレス」および「IPアドレス」が表示されます。

オンラインサービスのアカウント

mixiやTwitterなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

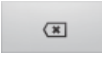
- Exchangeアカウントを設定する場合は、設定情報などをネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 **ホーム画面▶［メニュー］▶[本体設定]▶[アカウントと同期]**

2 **[アカウントを追加]▶追加したいアカウントの種類を選択**

3 **画面に従って操作する**

追加したアカウントが表示されます。

- アカウントをタップすると、各アカウントの設定ができます。

電話／ネットワークサービス

電話

電話をかける

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力**

- 電話番号を間違えたときは、 をタップして入力した番号を消します。

3

4 **通話が終了したら[終了]**

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

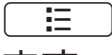
1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力**

3 **▶[発信者番号通知]▶[通知する]／[通知しない]▶**

プッシュ信号を入力する

自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶電話番号を入力**

3 **▶[2秒間の停止を追加]**

「,」が入力されます。

4 **送信するプッシュ信号を入力▶**

電話がつながって約2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。

- 手動でプッシュ信号を送信する場合は、手順3で ▶[待機を追加]をタップして、「；」を入力します。手順4のあと送信操作を行ってください。

国際電話の利用

- 海外での利用については☞P.237
- WORLD CALLについてのご不明な点は、「総合お問い合わせ先」（☞P.298）までお問い合わせください。

1 ホーム画面▶ ▶[電話]

2 [ダイヤル]タブ▶+（[0]をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 「+」や国番号を入力せずに、 ▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.246）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「+」を国際プレフィックスに変換して発信できます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる▶[操作開始]▶[通話]

- 応答を保留する場合は、[☰]▶[応答保留]をタップします。
- [☰]▶[クイック返信]▶メッセージをタップすると、応答を拒否して相手にメッセージ（SMS）を送信します。
- 応答を拒否する場合は、[操作開始]▶[拒否]をタップします。

2 通話が終了したら[終了]

電話着信中に着信音を一時的に消す

1 着信中▶[▲]／[▼]

マナーモード

マナーモードを設定すると、音楽や動画、アラーム以外の音を消すことができます。

1 [⏻]を1秒以上押す▶[サイレント]（サイレント）または[バイブレーション]（バイブレーション）

ステータスバーに[サイレント]または[バイブレーション]が表示されます。

- [▼]を押して着信音量を0にしてもマナーモードを設定できます。マナーモード（バイブレーション）に設定されるとバイブレーションが動作します。再度[▼]を押すとマナーモード（サイレント）に設定されます。

■ **マナーモードを解除する**

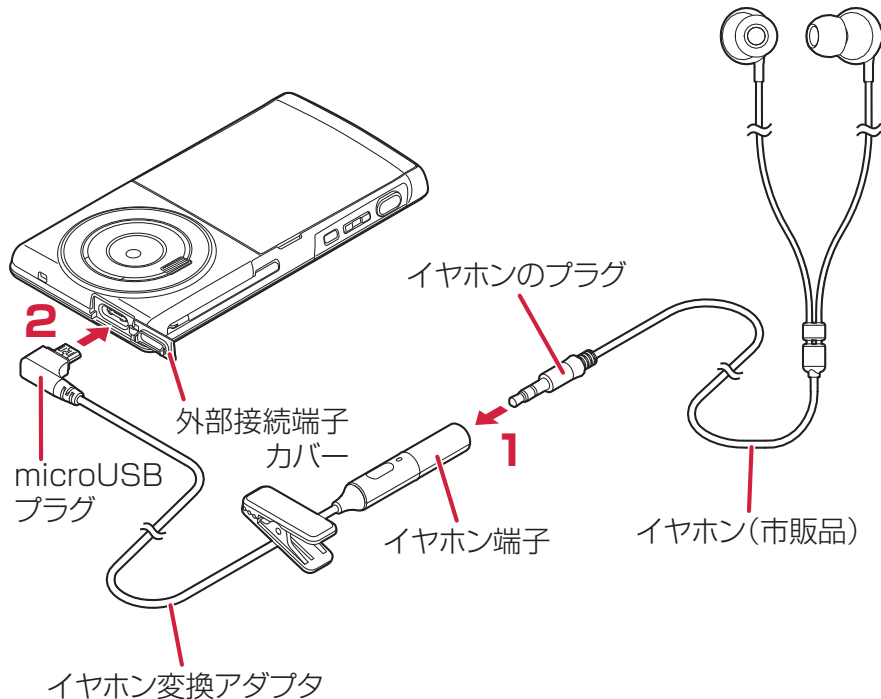
1 マナーモード設定中▶[⏻]を1秒以上押す▶[音]

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音、録画開始／終了音は鳴ります。

イヤホン変換アダプタの使いかた

端末にイヤホン変換アダプタ（試供品）を接続すると、イヤホン変換アダプタのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ イヤホン変換アダプタを取り付ける

1 イヤホンのプラグをイヤホン変換アダプタのイヤホン端子に差し込む

- イヤホンのプラグをイヤホン端子の奥まで正しく差し込んでください。

2 イヤホン変換アダプタのmicroUSBプラグを外部接続端子に差し込む

- 外部接続端子カバーは端末と平行になるまで開けてください（☞P.32）。外部接続端子カバーを大きく開けても性能に影響はありません。
- microUSBプラグの向きを確認してから差し込んでください。

■イヤホン変換アダプタの操作

機能	操作
電話に出る	着信中にイヤホン変換アダプタのスイッチを押します。
電話を拒否する	着信中にイヤホン変換アダプタのスイッチを1秒以上押します。
電話を切る	通話中にイヤホン変換アダプタのスイッチを1秒以上押します。
通話をミュートする	通話中にイヤホン変換アダプタのスイッチを押します。ミュート中にスイッチを押すと解除します。

通話中の操作

❶通話を終了します。
❷別の相手に電話をかけます※1。
❸通話を一時保留します※2。
マルチ接続中は通話相手を切り替えます※1※2。
❹ダイヤルキーを表示し、プッシュ信号を送信します※2。
❺自分の声を相手に聞こえなくします※2。
❻相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します※2。
Bluetooth接続時は、タップすると以下の項目が表示されます。
[スピーカー]：相手の声をスピーカーから流します。
[携帯端末のイヤホン]：相手の声を受話口から流します。
[有線ヘッドセット]：イヤホン接続時に、相手の声をイヤホンから流します。
[Bluetooth]：ワイヤレスイヤホンセットを使用したハンズフリー通話に切り替えます。

※1 キャッチホン（☞P.121）のご契約が必要です。

※2 再度タップするとタップ前の状態に戻ります。

お知らせ

- 通話中には音声入力を使うことができません。
- 通話中には動画を撮影できません。

相手の声の大きさを調節する

1 通話中▶[音量大キー]（音量大）／[音量小キー]（音量小）

通話履歴

1 ホーム画面▶[アプリ一覧アイコン]▶[電話]

通話履歴画面が表示されます。

- 履歴を1件削除する場合は、削除したい履歴をロングタッチ▶[通話履歴から削除]▶[OK]をタップします。
  履歴を全件削除する場合は、通話履歴画面▶[着信履歴]／[発信履歴]▶[メニューキー]▶[全件削除]▶[OK]をタップします。

通話履歴画面

❶ 名前や電話番号
タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信、連絡先の詳細表示／追加などができます。

❷ タップして階層下の履歴を表示
同じ名前や電話番号から連続して履歴が記憶された場合、1つにまとめて表示されます。

❸ [アイコン]：通知なし指定以外の発信
[アイコン]：通知なし発信
[アイコン]：国際電話発信
[アイコン]：国際電話着信

❹ [アイコン]：発信履歴
[アイコン]：着信履歴
[アイコン]：不在着信履歴

❺ 階層下の履歴件数

❻ タップして電話を発信

❼ タップして電話帳アプリを起動

電話帳

- 電話帳について詳しくは、電話帳のヘルプをご覧ください（☞P.110）。

電話帳に登録する

電話帳には名前や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話帳]**

2 **[登録]**

- 複数のアカウントがある場合は、登録するアカウントを選択します。

3 **必要な項目を入力**

- 画像の[設定]をタップすると、画像を登録できます。
- [追加]／[削除]をタップすると、入力欄の追加／削除ができます。

4 **[登録完了]**

- 連絡先が表示されない場合は、[表示するアカウント]（☞P.110）の設定を変更します。

連絡先をお気に入りに追加する

ドコモアカウントの連絡先をお気に入りに追加できます。

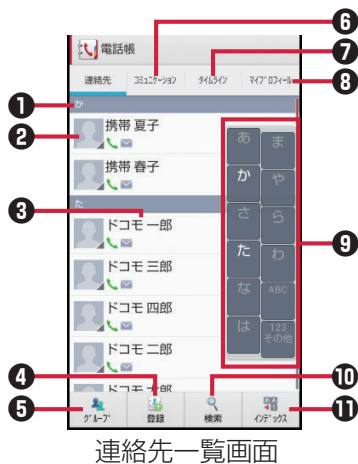
1 **ホーム画面▶ ▶[電話帳]**

2 **追加したい連絡先をタップ▶ ☆（グレー）**

☆が黄色に変わり、追加した連絡先が[お気に入り]グループや、[電話]の[お気に入り]タブの一覧に表示されます。

連絡先を確認する

1 **ホーム画面▶[icon]▶[電話帳]**

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面

❶インデックスバー
❷タップして電話発信やメッセージ（SMS）の送信などができます。
❸名前
タップして連絡先の詳細を確認できます。連絡先の詳細を表示中に、[編集]をタップして連絡先を編集できます。
❹タップして連絡先を登録します（☞P.108）。
❺タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します（☞P.112）。
❻タップして電話発着信履歴、spモードメール送受信履歴、メッセージ（SMS）送受信履歴を表示します。履歴から、電話発信やメッセージ（SMS）などの送信を行うことができます。
❼SNS連携機能で設定したSNSやブログのタイムラインが表示されます。タップすると詳細画面が表示され、コメントやいいね！の投稿をすることができます。
- マイプロフィールでSNS連携機能の設定をしておく必要があります（☞P.113）。

❽タップしてマイプロフィールを表示します（☞P.113）。
❾インデックス
❿タップして検索欄にキーワードを入力し、連絡先を絞り込みます。
⓫タップするとインデックスが表示されます。インデックスをタップすると、タップした文字のインデックスバーが先頭に表示されます。

連絡先一覧画面のメニュー

1 連絡先一覧画面▶☰▶以下の操作を行う

削除		連絡先を削除します。
ヘルプ		電話帳のヘルプを表示します。
その他	インポート／エクスポート	☞P.111
	センターと同期	連絡先をバックアップセンターにバックアップします。
	データ送信（赤外線）	赤外線通信で連絡先を送信します。
	連絡先の表示順	表示順を変更します。
	表示するアカウント	ドコモアカウント／Googleアカウントそれぞれの連絡先のみを表示したり、[カスタマイズ...]をタップして特定アカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定します。
	SNS連携設定	連絡先にSNSやブログのアカウントを登録することができます。 • マイプロフィールでSNS連携機能の設定をしておく必要があります（☞P.113）。
	アプリケーション情報	電話帳アプリのバージョンなどを表示します。

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモminiUIMカードやmicroSDカードと本端末の間で連絡先をインポート／エクスポートできます。

■連絡先をインポートする

1 **連絡先一覧画面▶ ☰ ▶[その他]▶[インポート／エクスポート]**

2 **[SIMカードからインポート]／[SDカードからインポート]▶アカウントを選択**

3 **ドコモminiUIMカードからインポートする場合**
インポートしたい連絡先をタップ

連絡先が1件インポートされます。

- 全件インポートするには、☰ ▶[すべてインポート]をタップします。

microSDカードからインポートする場合
[電話帳を1つインポート]／[複数の電話帳をインポート]▶[OK]▶インポートしたい連絡先を選択▶[OK]

- 全件インポートするには、[すべての電話帳をインポート]▶[OK]をタップします。

■連絡先をエクスポートする

1 連絡先一覧画面▶ [メニュー] ▶[その他]▶[インポート／エクスポート]

2 **microSDカードにエクスポートする場合**

[SDカードにエクスポート]▶[1つの連絡先をエクスポート]／[複数の連絡先をエクスポート]▶[OK]▶エクスポートしたい連絡先を選択▶[OK]▶[有り]／[無し]▶[OK]

- 全件エクスポートするには、[SDカードにエクスポート]▶[すべての連絡先をエクスポート]▶[OK]▶[有り]／[無し]▶[OK]をタップします。

表示可能な連絡先をエクスポートする場合

[表示可能な電話帳を共有]▶画面に従ってメールを送信する

グループに登録する

- グループ機能は、ドコモアカウント／Googleアカウントで作成された連絡先に対してご利用になれます。

1 連絡先一覧画面▶[グループ]

グループ一覧が表示されます。
- グループを新規作成する場合は[追加]をタップします。
- グループの表示を終了する場合は[閉じる]をタップします。

2 連絡先をロングタッチ▶グループにドラッグ＆ドロップ

- ドコモアカウント／Googleアカウントの連絡先は、それぞれのアカウントのグループにのみ登録できます。
- グループから連絡先を削除する場合は、同様の操作を行います。

マイプロフィール

端末の電話番号や名刺作成アプリで作成した名刺を確認できます。また、お客様ご自身の情報を入力、編集できます。

1 ホーム画面▶ ▶[電話帳]

2 [マイプロフィール]タブ

マイプロフィール画面が表示されます。

- [新規作成]／[名刺編集]／[名刺削除]をタップすると、名刺を作成／編集／削除できます。
- [この名刺を交換する]をタップすると、近い場所にいる人と名刺交換ができます。

3 [編集]▶必要な項目を入力

- SNS連携機能を利用する場合は[SNS・ブログ]欄の[設定]をタップして、SNSやブログのアカウント情報を登録します。SNS連携機能を停止するにはマイプロフィール画面▶ ▶[全体設定]▶[SNS連携機能の利用停止]をタップします。

4 [登録完了]

マイプロフィール画面のメニュー

1 マイプロフィール画面▶ ▶以下の操作を行う

項目		説明
赤外線送信		赤外線通信でマイプロフィールや名刺を送信します。
共有		マイプロフィールをメールで送信します。
お知らせ		ｉコンシェルのお知らせを表示します。
名刺読み込み		端末やmicroSDカード内の名刺をマイプロフィールの名刺として登録します。
名刺交換履歴		名刺の送受信履歴を表示します。
全体設定	**データ管理**	名刺や連絡先をインポート／エクスポート／赤外線送信できます。
	名刺交換利用設定	名刺交換機能を利用するかどうかを設定します。
	SNS連携機能の利用停止	SNS連携機能の利用を停止します。
	電話帳の海外利用設定	ONにすると、SNS連携機能を海外でも利用できます。
	Wi-Fi利用設定	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
	SNS・ブログ一時ファイル削除	[コミュニケーション]タブや[タイムライン]タブに表示されているSNSやブログのメッセージを削除します。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 **ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]**

2 **[エクスポート]タブ▶[開始]**

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 **ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]**

2 **[インポート]タブ▶インポートしたいファイルをタップ**

3 **[上書き]／[追加]**

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **ホーム画面▶ ▶[電話帳コピーツール]**

2 **[docomoアカウントへコピー]タブ▶コピーしたいGoogleアカウントをタップ**

3 **[上書き]／[追加]**

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、一括バックアップで作成したファイルは読み込むことができません。
- 電話帳コピーツールでエクスポートした電話帳を電話帳コピーツール以外でご利用される場合、正しく表示されないことがあります。

利用できるネットワークサービス

本端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、本端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、「総合お問い合わせ先」（☞P.298）までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.117
転送でんわサービス	無料	必要	P.119
キャッチホン	有料	必要	P.121
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.122
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P.123
声の宅配便	無料	不要	P.124

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分間、20件まで録音でき、72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、ステータスバーにが表示されます。
- 本端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた方が伝言を録音する※1
ステップ3：伝言メッセージを再生する

※1 急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「＃」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスを利用する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[通話設定]**

2 **[ネットワークサービス]**

ネットワークサービス画面が表示されます。

3 **[留守番電話サービス]▶以下の操作を行う**

サービス開始	留守番電話サービスを開始します。
呼出時間設定	呼出時間（0～120秒）を入力します。 • 呼出時間を「0秒」に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されません。
サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
設定確認	現在の設定内容を確認します。
メッセージ再生※1	留守番電話サービスセンターにつながったら、音声ガイダンスに従って伝言メッセージを再生します。
設定※1	留守番電話サービスセンターにつながったら、音声ガイダンスに従って設定を変更します。
メッセージ問合せ※1	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。
件数増加鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、音とバイブレーションでお知らせします。

※1 各操作終了後に、「NTT DOCOMO VM:XX」というメッセージ（SMS）が受信されます。

転送でんわサービス

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話履歴に不在着信として記録され、ステータスバーにが表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：お客様の端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に自動的に転送される

転送でんわサービスの通話料

- 発信者から転送でんわサービスのご契約者への通話料は、発信者の負担となります。
- 転送でんわサービスのご契約者から転送先への通話料は、ご契約者の負担となります。

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 **ネットワークサービス画面▶[転送でんわサービス]▶以下の操作を行う**

サービス開始	転送先の電話番号と呼出時間（0～120秒）を入力し、転送でんわサービスを開始します。 ● をタップすると電話帳を呼び出せます。 ● 呼出時間を「0秒」に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されません。
サービス停止	転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更します。 ● をタップすると電話帳を呼び出せます。
転送先通話中時設定※1	転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
ガイダンス設定	電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流します。
設定確認	現在の設定内容を確認します。

※1 留守番電話サービスのご契約が必要です。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料がかかります。

キャッチホンを設定する

1. **ネットワークサービス画面▶[キャッチホン]**

2. **キャッチホンサービスの開始／停止／設定確認の操作を行う**

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1. **通話中▶「ププ…ププ…」という音が聞こえる**

   近接センサーから顔を離すと、着信画面が表示されます。

2. **[操作開始]▶[通話]▶[保留して応答]**

   最初の相手との通話を保留にして、あとからかかってきた電話に応答します。

3. **あとからかかってきた相手との通話を終了する場合**

   [終了]

   最初の相手との通話に切り替わります。

   あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

   [切り替え]

   最初の相手との通話に切り替わります。[切り替え]をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中▶[保留]**

最初の相手との通話が保留になります。

2 **[通話を追加]▶別の相手の電話番号を入力▶**

新しくかけた相手との通話ができます。

3 **新しくかけた相手との通話を終了する場合**
[終了]

最初の相手との通話に切り替わります。

新しくかけた相手との通話を保留にする場合
[切り替え]

最初の相手との通話に切り替わります。[切り替え]をタップするたびに通話相手が切り替わります。

発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 **ネットワークサービス画面▶[発信者番号通知]**

2 **発信者番号通知サービスの設定／設定確認の操作を行う**

お知らせ

- 1回の通話ごとに発信者番号の通知／非通知を指定する設定のほうが、発信者番号通知の設定よりも優先されます（☞P.101）。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている場合や機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- 公共モード（電源OFF）とネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※、転送でんわサービス※は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※ 呼出時間が「0秒」以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。

1 **ネットワークサービス画面▶[公共モード（電源OFF）設定]**

2 **公共モード（電源OFF）を設定する場合**
[サービス開始]▶[OK]

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）を解除する場合
[サービス停止]▶[OK]

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合
[設定確認]

公共モード（電源OFF）を設定すると

[サービス停止]▶[OK]をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

声の宅配便

お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。

- メッセージは1件あたり最長15分間、最大500件まで録音でき、720時間保存されます。また、最大5件までのメッセージを保護できます。（保護を解除して720時間経過すると、自動消去されます。）
- 海外からはご利用できません。
- 声の宅配便はお申し込み／月額使用料の不要なサービスです。ただし、メッセージの録音・再生などには通話料金がかかります。
- 詳細はドコモのホームページをご覧ください。

声の宅配便の基本的な流れ

ステップ1：声の宅配便で相手を指定し、発信する
ステップ2：音声ガイダンスに従い、メッセージを録音する
ステップ3：相手に録音通知メッセージ（SMS）※1で通知される
ステップ4：相手がメッセージを再生する
ステップ5：再生通知メッセージ（SMS）※2が届く

※1 発信者がメッセージを録音したあと、特定のボタンを押すか通話を終了した際に、受信者に対して録音通知メッセージ（SMS）が送信されます。

※2 受信者がメッセージを再生した際に、メッセージの発信者に対して再生通知メッセージ（SMS）が送信されます。受信者が同一のメッセージを複数回再生した場合でも、初回の再生時のみ再生通知メッセージ（SMS）が送信されます。
再生したことをメッセージの発信者に知らせたくない場合は、再生通知機能を停止してください。初期設定では再生通知機能は開始に設定されています。

メッセージを録音する

声の宅配便で相手に発信すると、メッセージを録音できます。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶相手の電話番号を入力▶[声の宅配便]**

- 音声ガイダンスに従って操作してください。

メッセージを再生する

声の宅配便に録音されたメッセージを再生します。音声ガイダンスに従って操作すると、再生後に消去したり、保護したりできます。

1 録音通知メッセージ（SMS）に表示されている番号に発信

- 音声ガイダンスに従って操作してください。

声の宅配便を設定する

1 ネットワークサービス画面▶[声の宅配便]▶以下の操作を行う

サービス利用（アプリ起動）	アプリを起動して声の宅配便を利用します。
設定確認・変更（サイト接続）	サイトに接続して設定を確認／変更します。
設定確認・変更（音声発信）	電話発信して設定を確認／変更します。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面▶ ▶[本体設定]をタップして設定メニューを呼び出して、本端末の各種設定を行うことができます。

- 設定メニューは、ホーム画面▶ ▶[設定]をタップするか、通知パネルで をタップしても表示できます。

無線とネットワーク

Wi-Fi

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Wi-Fi]

- 「Wi-Fi」をONにするとWi-Fi機能がONになります。
- Wi-Fi接続の設定については☞P.95

Bluetooth

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Bluetooth]

- 「Bluetooth」をONにするとBluetooth機能がONになります。
- Bluetooth接続の設定については☞P.181

データ使用

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[データ使用]

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- 「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、[モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する

アプリケーションが自動的に行うデータ通信を制限できます。

- [モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けているときのみ設定できます。

1 データ使用の管理画面▶ ☰ ▶[バックグラウンドデータを制限する]にチェックを付ける▶[OK]

通話設定

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[通話設定]**

2 **以下の操作を行う**

ネットワークサービス	**声の宅配便**	☞P.124
	留守番電話サービス	☞P.117
	転送でんわサービス	☞P.119
	キャッチホン	☞P.121
	発信者番号通知	☞P.122
	迷惑電話ストップサービス	いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録できます。
	番号通知お願いサービス	電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	通話中着信設定	通話中にかかってきた電話に対して、ネットワークサービスで事前に設定しておいた方法で対応します。
	着信通知	電源が入っていないときや圏外にいたとき、通話中に着信があった場合、着信の情報をメッセージ（SMS）でお知らせします。 [全着信]：すべての着信を通知します。 [発番号あり]：番号を通知している着信のみ通知します。
	英語ガイダンス	各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定できます。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
	公共モード（電源OFF）設定	☞P.123
海外設定		☞P.246

通話詳細設定	サブアドレス設定※1	電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出します。 • サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。
	プレフィックス設定	電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。 ▶ ☰ ▶[追加]▶名称と番号を入力▶[OK] • 電話をかけるときにプレフィックス番号を付加するには、☰ ▶[プレフィックス選択]▶プレフィックスを選択します。
	登録外着信拒否	電話帳に登録していない電話番号からの着信を拒否します。
クイック返信		クイック返信のメッセージを編集します。
オープンソースライセンス		オープンソースライセンスを確認できます。
アカウント		[アカウントを追加]をタップして、インターネット通話を行うためのSIPアカウントを設定します。また、インターネット通話で着信を受けたい場合は、[着信を許可]にチェックを付けます。
インターネット通話を使用		Wi-Fiネットワーク接続中にインターネット通話を利用して電話をかけるかどうかを設定します。

※1 本端末ではサブアドレス発信はできません。

その他

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[その他...]

2 以下の操作を行う

機内モード		本端末のワイヤレス通信機能を無効にします。 • [機内モード]にチェックを付けるとWi-FiやWi-Fiテザリング、Bluetooth機能もOFFになります。ただし、Wi-FiとBluetooth機能は機内モード中でもONにすることができます。
VPN	**VPNネットワークの追加**	☞P.186
テザリング	**USBテザリング**	☞P.131
	Wi-Fiテザリング	☞P.132
	Wi-Fiアクセスポイントを設定	☞P.132
	ヘルプ	テザリングのヘルプを表示します。
Wi-Fi Direct		☞P.133
Wi-Fi Direct設定		☞P.133
モバイルネットワーク	**データ通信を有効にする**	モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にします。
	データローミング	☞P.243
	アクセスポイント切替抑止	☞P.91
	アクセスポイント名	☞P.90
	ネットワークモード	☞P.242
	通信事業者	☞P.242

USBテザリングを利用する

付属のmicroUSBケーブルでUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1 端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する

- 接続方法については☞P.187「パソコンと接続する」手順1～2

2 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[その他...]

3 [テザリング]▶[USBテザリング]

4 [注意事項の詳細]▶内容を確認▶[戻る]▶[OK]

USBテザリングが有効になります。

お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  Windows 7、Windows Vista、Windows XP (Service Pack 3以降)
- お使いのパソコンの動作環境により、USBテザリングを利用してインターネットに接続しにくかったり、無効になる場合があります。その場合は、USBテザリングを再度有効にしてからご利用ください。
- OSがWindows XPの場合、USBテザリングを行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/mobile/
- USBストレージをONにしている場合は、USBテザリングを利用できません。[USBストレージをOFFにする]をタップすると、USBテザリングを利用できます（☞P.188）。
- [データ移行モード]にチェックを付けている場合は、USBテザリングを利用できません。[データ移行モード]のチェックを外してください（☞P.149）。

Wi-Fiテザリングを利用する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに最大5台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[その他...]

2 [テザリング]▶[Wi-Fiテザリング]

3 [注意事項の詳細]▶内容を確認▶ ↩ ▶[OK]

Wi-Fiテザリングが有効になります。

- お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「AndroidAP」、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。パスワードはランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更できます。
- [SSIDを通知しない]にチェックを付けると、ネットワークSSIDを非通知にできます。非通知にすることで、ネットワークSSIDを入力した端末だけが接続できるようにします。

お知らせ

- Bluetooth機能をONにすると、Wi-Fiテザリングは無効になります（☞P.181）。
- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[その他...]

2 [テザリング]▶[Wi-Fiアクセスポイントを設定]

3 ネットワークSSIDとセキュリティを設定

- セキュリティを[WEP]／[WPA2 PSK]／[WPA/WPA2 Mixed]に設定すると、パスワードを設定できます。

4 [保存]

お知らせ

- セキュリティを[Open]に設定すると、接続可能な台数は1台のみになります。

Wi-Fi Directを利用する

アクセスポイントがなくても、Wi-Fi Direct対応機器どうしを接続することができます。

1 **ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[Wi-Fi Direct]にチェックを付ける**

Wi-Fi DirectがONになり、利用可能なWi-Fi Direct対応機器を検索します。

3 **[Wi-Fi Direct設定]**

Wi-Fi Direct設定画面が表示され、検出されたWi-Fi Direct対応機器名を確認できます。

4 **検出された機器名を選択▶[接続]**

- [Wi-Fi保護設定]でセキュリティの設定ができます。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 **Wi-Fi Direct設定画面▶接続中の機器名をタップ▶[切断]**

お知らせ

- Wi-Fi Directで同時に接続可能な機器は1台のみです。

端末

音

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[音]**

音の設定画面が表示されます。

2 **以下の操作を行う**

音量	☞P.135
マナーモード	☞P.103
着信音	電話着信音を設定します。
デフォルトの通知音	メッセージ（SMS）などを受信したときの通知音を設定します。
バイブレーション	着信音が鳴るときにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 • Gmailを受信してもバイブレーションは動作しません。
ダイヤルパッドのタッチ操作音	電話のダイヤルパッド操作音のON／OFFを設定します。
タッチ操作音	特定の画面操作における操作音のON／OFFを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	特定の画面操作におけるバイブレーションのON／OFFを設定します。

音量を調節する

メディア再生音、着信音や通知音、アラームの音量を調節できます。

1 音の設定画面▶[音量]▶調節したい音のスライダーを左右にドラッグ

2 [OK]

お知らせ

- ▲／▼で着信音、通知音の音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中やワンセグ視聴中などは各機能の音量調節キーになります。

ディスプレイ

1 ホーム画面▶［≡］▶[本体設定]▶[ディスプレイ]

2 以下の操作を行う

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
壁紙	☞P.76
画面の自動回転	端末の向きに合わせて縦／横画面表示を自動的に切り替えます。
スリープ	無操作の状態が続いたときに、自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。 • 赤外線通信機能が実行中の場合は、無操作のまま設定時間が過ぎてもスリープモードになりません。
ブラウザ省電力	ウェブページを読み込んでいる間、画面を微灯にするかどうかを設定します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
フォント設定	本端末で表示するフォントを設定します。
タッチパネル調整	タッチパネルの動作（タッチした位置の検出）の補正を行います。
タッチパネル感度設定	タッチパネルの感度を設定します。
近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーを有効にします。
利き手設定	ユーザーの利き手情報を設定します。 • "タッチスピードセレクター"の画面に反映されます。

ストレージ

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[ストレージ]

ストレージの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

内部ストレージ	本端末のメモリの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を表示します。
SDカード	microSDカードの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	本端末からmicroSDカードを安全に取り外します／本端末にmicroSDカードを認識させます。 • microSDカードの使用中は、SDカードのマウント解除やUSBストレージをONにする操作（☞P.187）を行わないでください。データが破損する恐れがあります。
SDカード内データを消去	☞P.137

microSDカード内の全データを消去する

1 ストレージの設定画面▶[SDカードのマウント解除]▶[OK]

[SDカード内データを消去]が選択可能になります。

2 [SDカード内データを消去]▶[SDカード内データを消去]

- 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行います。

3 [すべて消去]

電池

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[電池]

電池の使用状況が表示されます。

アプリ

1 **ホーム画面▶[メニューアイコン]▶[本体設定]▶[アプリ]**

アプリケーションの管理画面が表示されます。アプリケーションのデータやキャッシュの消去などを行います。
画面上部の[ダウンロード済み][SDカード上][実行中][すべて]をタップしてタブを切り替えることができます。

インストールしたアプリケーションを削除する

1 **アプリケーションの管理画面▶[ダウンロード済み]タブ**

2 **削除したいアプリケーションをタップ▶[アンインストール]▶[OK]**

アプリケーションを無効にする

アンインストールできない一部のアプリケーションを無効にすることができます。
無効にしたアプリケーションは、動作が停止し、アプリケーション一覧画面などの画面に表示されなくなります。

- アプリケーションを無効にしても、アンインストールはされません。

1 **アプリケーションの管理画面▶[すべて]タブ**

2 **無効にしたいアプリケーションをタップ▶[無効にする]▶[OK]**

- 無効にしたアプリケーションを有効にするには、有効にしたいアプリケーションをタップ▶[有効にする]をタップします。

お知らせ

- アプリケーションを無効にした場合、無効にしたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。無効にしたアプリケーションを再度有効にすることで、正しく動作します。

ユーザー設定

ドコモサービス

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[ドコモサービス]

2 以下の操作を行う

アプリケーション管理	定期アップデート確認等の設定を行います。
Wi-Fi	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定／変更します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPSアプリを起動します。
ドコモ位置情報	ドコモ位置情報アプリを起動します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを確認できます。

アカウントと同期

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[アカウントと同期]

アカウントと同期の設定画面が表示されます。
- 「アカウントと同期」をONにすると自動同期が有効になります。
- [アカウントを追加]をタップするとアカウントを追加できます（☞P.98）。

自動同期させる項目を変更する

1 アカウントと同期の設定画面▶アカウントをタップ▶同期させる項目のみにチェックを付ける

- 自動同期を無効にしている場合は、各項目をタップして項目ごとに手動で同期を行うことができます。

手動で同期を開始する

1 アカウントと同期の設定画面▶同期したいアカウントをタップ▶[メニュー]▶[今すぐ同期]

- 同期を中止するには[メニュー]▶[同期をキャンセル]をタップします。

アカウントを削除する

オンラインサービスのアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや電話帳、設定など）も削除されます。
- オンラインサービス上のデータは削除されません。

1 アカウントと同期の設定画面▶削除したいアカウントをタップ▶[メニュー]▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]

お知らせ
- docomoアカウントは削除できません。

位置情報サービス

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[位置情報サービス]

2 以下の操作を行う

Googleの位置情報サービス	Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。
GPS機能	より精度の高い位置情報を測位します。 • 視界が良好である必要があり、電池の消費が多くなります。Googleの位置情報サービスとの併用をおすすめします。
位置情報とGoogle検索	Googleが現在地情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[セキュリティ]

2 以下の操作を行う

画面のロック	☞P.146
パターンを表示する	パターンでのロック解除時に指でなぞった軌跡を画面に表示するかどうかを設定します。 • [画面のロック]を[パターン]に設定しているときのみ表示されます。
自動ロック	自動的にスリープモードになったときに画面ロックがかかるまでの時間を設定します。 • [画面のロック]を[パターン][PIN][パスワード]に設定しているときのみ表示されます。
電源ボタンですぐにロックする	[電源]を押したときにすぐに画面ロックをかけるかどうかを設定します。 • [画面のロック]を[パターン][PIN][パスワード]に設定しているときのみ表示されます。
タッチ操作バイブ	ロック解除操作時に画面にタッチしたときにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。 • [画面のロック]を[パターン][PIN]に設定しているときのみ表示されます。

所有者情報	ロック画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。 • [画面のロック]を[なし]以外に設定しているときのみ表示されます。
SIMカードロック設定	☞P.145
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	☞P.147
提供元不明のアプリ	Playストア以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。 • お使いの端末と個人データを保護するため、Playストアなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。
信頼できる認証情報	証明書の有効／無効設定や削除を行います。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去します。
端末パスワード設定	☞P.147

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.298）。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、「総合お問い合わせ先」までご相談ください（☞P.298）。

■画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。PINは4桁以上の番号、パスワードは英字を1文字以上含む4桁以上の番号を設定できます（☞P.146）。

■端末パスワード

端末リセット時や他のアプリケーションからパスワードマネージャが呼び出されたときに入力する4～8桁の番号です（☞P.147）。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※1の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、dメニューからは、dメニュー▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」▶「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更できます。

※1「My docomo」「お客様サポート」については☞P.294

■PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.145）。

PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。

PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[セキュリティ]**

2 **[SIMカードロック設定]**

3 **[SIMカードをロック]▶PINコードを入力▶[OK]**

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

PINコードを変更する

1 **P.145「PINコードを設定する」の手順1～3を行う**

2 **[SIM PINの変更]**

3 **現在のPINコードを入力▶[OK]**

4 **新しいPINコードを入力▶[OK]**

5 **新しいPINコードを再度入力▶[OK]**

PINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続して間違えるとPINコードがロックされ、[SIMカードはPINロック解除コードでロックされています]が表示されます。以下の操作でPINロックを解除できます。

1 **をタップ**

2 **PINロック解除コード（PUK）を入力**

3 **新しいPINコードを入力**

4 **新しいPINコードを再度入力▶[OK]**

画面ロックを設定する

電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとの画面ロックを設定します。
画面ロックには以下の方法があります。
[タッチ]：をタップしてロックを解除します。
[パターン]：ロック解除パターンを入力してロックを解除します。
[PIN]：4～16桁の数字を入力してロックを解除します。
[パスワード]：4～16桁の英数字を入力してロックを解除します。
[パターン][PIN][パスワード]に設定すると、本端末を他の人に使用されないようにロックできます。

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[セキュリティ]

セキュリティの設定画面が表示されます。

2 [画面のロック]▶画面ロックのロック解除方法を選択▶画面に従って解除パターンを登録する▶[OK]

- [なし]に設定すると、電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとにロック画面は表示されません。
- 設定内容の確認画面で[やり直す]をタップすると、画面ロックの解除方法を設定し直します。

お知らせ

- 電源を入れたあとやスリープモードを解除したあとのロック画面でロック解除パターンの入力を5回連続して間違えた場合は、30秒間再入力ができません。ロック解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で[パターンを忘れた場合]をタップしたあとGoogleアカウントでログインし、画面に従って新しいパターンを作成できます。Googleアカウントを設定している場合のみ[パターンを忘れた場合]が表示されます。
また、PINやパスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

端末管理者を選択する

本端末の管理者の権限の有効／無効を設定します。

- おまかせロックを利用する場合は、「おまかせロック」を有効にする必要があります。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[セキュリティ]**

2 **[端末管理者]▶管理者を選択▶[有効にする]／[無効にする]**

端末パスワードを設定する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[セキュリティ]**

セキュリティの設定画面が表示されます。

2 **[端末パスワード設定]**

3 **端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **端末パスワードを再度入力▶[OK]**

端末パスワードを変更する

1 **セキュリティの設定画面▶[端末パスワード設定]**

2 **現在の端末パスワードを入力▶[OK]**

3 **新しい端末パスワードを入力▶[OK]**

4 **新しい端末パスワードを再度入力▶[OK]**

言語と入力

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[言語と入力]

2 以下の操作を行う

言語		使用する言語を設定します。
スペルチェッカー		スペルチェッカーの有効／無効を切り替えます。 • [設定]をタップしてスペルチェッカーの動作を設定できます。
ユーザー辞書		Androidキーボード用の単語リストに登録します。 ▶[+]▶単語を入力▶[OK]
デフォルト		デフォルトの入力方法を選択します。
Androidキーボード		[設定]をタップしてAndroidキーボードの動作を設定できます。
Google音声入力		Google音声入力の有効／無効を切り替えます。 • [設定]をタップしてGoogle音声入力の動作を設定できます。
しゃべってキー入力		[設定]をタップしてしゃべってキー入力の動作を設定できます。
クイック手書き		☞P.67
フィットキー		☞P.65
音声検索	言語	音声によるテキスト入力で使用する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声検索の結果にアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声によるテキスト入力で不適切な語句を表示しないように設定します。

テキスト読み上げの出力	Googleテキスト読み上げエンジン	をタップして音声合成エンジンの動作を設定できます。 • 日本語の読み上げには対応していません。
	音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
ポインタの速度		ポインタの速度を設定します。

バックアップとリセット

1 ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[バックアップとリセット]

バックアップとリセットの設定画面が表示されます。

2 以下の操作を行う

データのバックアップ	アプリケーションのデータや設定をGoogleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	データのバックアップに使用するアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップした設定やデータを復元します。
データ移行モード	ドコモショップなど窓口にてデータを移し替える際に設定します。 • 「USBデバッグ」、「USBテザリング」、「Wi-Fi」を利用中は設定できません。
SDバックアップ	☞P.150
データの初期化	☞P.151

データをmicroSDカードにバックアップする

本端末の電話帳、受信／送信／未送信メッセージ（SMS）、ブックマーク、スケジュール、受信／送信／未送信spモードメールをmicroSDカードにバックアップできます。

1 **バックアップとリセットの設定画面▶[SDバックアップ]▶[microSDへバックアップ]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

- 端末パスワードが未設定の場合は☞P.147「端末パスワードを設定する」手順3～4

2 **バックアップしたいデータをタップ▶[はい]**

3 **バックアップが終了したら[OK]**

バックアップデータを端末に復元する

1 **バックアップとリセットの設定画面▶[SDバックアップ]▶[microSDから本体へ復元]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

2 **復元したいデータをタップ▶復元したいファイルをタップ▶[はい]**

3 **復元が終了したら[OK]**

- 未送信メッセージ（SMS）の場合は、本文のみが復元されます。復元した未送信メッセージ（SMS）をロングタッチ▶[転送]をタップすると、宛先を入力できます。

バックアップデータを削除する

1 **バックアップとリセットの設定画面▶[SDバックアップ]▶[microSDバックアップデータ削除]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

2 **削除したいデータをタップ▶削除したいファイルにチェックを付ける▶[削除実行]▶[はい]**

3 **削除が終了したら[OK]**

端末をリセットする

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後に本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

1 **バックアップとリセットの設定画面▶[データの初期化]▶端末パスワードを入力▶[OK]**

- 端末パスワードが未設定の場合は☞P.147「端末パスワードを設定する」手順3～4
- microSDカード内の全データも消去する場合は、[SDカード内データを消去]にチェックを付けます。

2 **[携帯端末をリセット]**

- 画面ロックを設定している場合は、設定した解除方法を行います。

3 **[すべて消去]**

リセットが完了すると端末が再起動します。

お知らせ

- [ネットワークモード]、[通信事業者]の設定はリセットされません（☞P.242）。

メモリリフレッシュ

設定した時刻に自動的に本端末を再起動し、メモリ使用領域をリフレッシュします。

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[メモリリフレッシュ]**

2 **以下の操作を行う**

メモリリフレッシュ	設定した時刻に自動的にメモリリフレッシュを実行するかどうかを設定します。
時刻設定	メモリリフレッシュを実行する時刻を設定します。
曜日設定	メモリリフレッシュを実行する曜日を設定します。

システム

日付と時刻

お買い上げ時は[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックが付いていますので、日時を手動で設定する必要はありません。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[日付と時刻]

2 以下の操作を行う

日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付、時刻を取得して自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーンを取得して自動的に補正します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示に切り替えます。
日付形式	年月日の表示方法を切り替えます。

ユーザー補助

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[ユーザー補助]**

- [スクリーンリーダーをご利用になりますか？]が表示されたら、[OK]をタップしてPlayストアからTalkBackをインストールするか、[キャンセル]をタップします。

2 **以下の操作を行う**

TalkBack	TalkBackのON／OFFを設定します。 • TalkBackがインストールされているときのみ表示されます。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	⏻を押して通話を終了できるようにします。
画面の自動回転	☞P.136
パスワードの音声出力	パスワード入力時に音声で出力します。
押し続ける時間	ロングタッチするときに押し続ける時間を設定します。
ウェブスクリプトをインストール	Googleからのウェブスクリプトのインストールを許可するかどうかを設定します。

開発者向けオプション

1 ホーム画面▶[メニュー]▶[本体設定]▶[開発者向けオプション]

2 以下の操作を行う

USBデバッグ	USB接続時にデバッグモードにするかどうかを設定します。
開発端末ID	開発端末IDを表示します。
スリープモードにしない	充電中はスリープモードにならないように設定します。
疑似ロケーションを許可	疑似ロケーションを許可するかどうかを設定します。
厳格モードを有効にする	処理時間が長くなる場合にディスプレイを点滅させて通知します。
ポインタの位置	タッチした位置の座標などの情報を表示します。
タップを表示	タップした位置を画面に表示します。
CPU使用状況を表示	CPUの使用状況を表示します。
ウィンドウアニメスケール	ウィンドウのアニメーション速度を設定します。
トランジションアニメスケール	画面切り替え時のアニメーション速度を設定します。
すべてのANRを表示	バックグラウンドアプリが応答しなくなったときに通知を行うかどうかを設定します。

端末情報

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]

2 以下の操作を行う

ソフトウェア更新	☞P.261
機能バージョンアップ	☞P.267
Psmart更新通知	Psmartの更新時に通知するかどうかを設定します。
端末の状態	電池残量や電話番号などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンス（GPL v2／LGPL含む）やGoogle利用規約を確認できます。
モデル番号	型番を確認できます。
Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

メール／インターネット

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面▶[icon]▶[spモードメール]

2 画面に従って「spモードメール」アプリをダウンロードする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は、最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を作成して送信する

1 **ホーム画面▶ ▶[メッセージ]**

メッセージ一覧画面が表示されます。

2 **▶[To]欄▶送信先の携帯電話番号を入力**

3 **[メッセージを入力]欄▶メッセージを入力**

- を押して、Android搭載の端末で表示することができる絵文字を挿入できます。
- メッセージ（SMS）を下書き保存する場合は、宛先とメッセージを入力し、を2回押します。

4

お知らせ

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

メッセージ（SMS）を受信して読む

メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、新着メッセージ（SMS）を確認できます。

1 **メッセージ一覧画面▶読みたいスレッドをタップ**

メッセージ（SMS）に返信する

1 メッセージ一覧画面▶返信したいスレッドをタップ

2 メッセージを入力▶

メッセージ（SMS）を転送する

1 メッセージ一覧画面▶転送したいスレッドをタップ

2 転送したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[転送]

3 [To]欄に転送先の携帯電話番号を入力▶

メッセージ（SMS）を削除する

1 メッセージ一覧画面

2 **メッセージ（SMS）を1件削除する場合**
削除したいスレッドをタップ▶削除したいメッセージ（SMS）をロングタッチ▶[削除]
スレッドを1件削除する場合
削除したいスレッドをタップ▶ ▶[スレッドを削除]
スレッドを複数選択して削除する場合
削除したいスレッドの1つをロングタッチ▶スレッドをタップ▶
スレッドを全件削除する場合
 ▶[すべてのスレッドを削除]

3 [削除]

メッセージ（SMS）のオプション設定

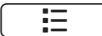
1 メッセージ一覧画面▶ ▶[設定]

- メッセージ（SMS）の自動削除に関する設定や、通知設定などができます。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイント（☞P.90）、メールアカウント（☞P.93）を設定してください。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面▶ ▶[メール]

Eメール一覧画面が表示されます。

2

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のメールアカウントをタップして送信するメールアカウントを切り替えます。
- 統合ビューが表示されている場合は、Eメールアカウントのオプション設定（☞P.162）で[優先アカウントにする]にチェックの付いている優先アカウントから送信されます。

3 [To]欄▶メールアドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、 ▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [件名]欄▶件名を入力

5 [メールを作成します]欄▶メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、 ▶[ファイルを添付]▶ファイルを選択します。

6

お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメール受信拒否を設定していると、Eメールを送信できません。

Eメールを受信して読む

1 **Eメール一覧画面▶受信トレイを更新するには**

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のメールアカウントをタップして表示するメールアカウントを切り替えます。
- [統合ビュー]をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 **読みたいEメールをタップ**

Eメールに返信する

1 **Eメール一覧画面▶返信したいEメールをタップ**

2 **1件の宛先に返信する場合**

　
全員に返信する場合

▶[全員に返信]

3 **メッセージを入力▶**

Eメールを転送する

1 **Eメール一覧画面▶転送したいEメールをタップ▶▶[転送]**

2 **[To]欄に転送先のメールアドレスを入力▶**

Eメールを削除する

1 Eメール一覧画面

2 **1件削除する場合**
削除したいEメールをタップ
複数選択して削除する場合
削除したいEメールにチェックを付ける、またはEメールをロングタッチ

3

フォルダの表示を切り替える

1 Eメール一覧画面▶

2 表示したいフォルダをタップ

Eメールアカウントのオプション設定

1 Eメール一覧画面▶ ▶[設定]

- Eメール全般の設定やアカウントごとの設定などができます。

Gmail

GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.89）を設定してください。

Gmailを更新する

1 **ホーム画面▶ ▶[Gmail]**

受信トレイが表示されます。

2

端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させて、受信トレイを更新します。

メールを作成して送信する

1 **受信トレイ▶**

2 **[To]欄▶メールアドレスを入力**

- CcやBccを追加する場合は、▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

3 **[件名]欄▶件名を入力**

4 **[メールを作成]欄▶メッセージを入力**

- 画像を添付する場合は、▶[ファイルを添付]▶画像を選択します。

5

新着メールを表示する

1 **受信トレイ▶未読メールがあるスレッドをタップ**

- ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、通知パネルを開いて通知をタップしても、受信トレイを表示できます。

メールを検索する

1 **受信トレイ▶**

2 **キーワードを入力▶**

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。

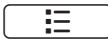
メールに返信する

1 **返信したいメールを表示**

2 **1件の宛先に返信する場合**

全員に返信する場合

▶[全員に返信]

3 **[メールを作成]欄▶メッセージを入力**

4

メールを転送する

1 **転送したいメールを表示**

2 **▶[転送]**

3 **[To]欄▶メールアドレスを入力**

- CcやBccを追加する場合は、 ▶[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 **[メールを作成]欄▶メッセージを入力**

- 画像を添付する場合は、[☰]▶[ファイルを添付]▶画像を選択します。

5 ➤

メッセージスレッドの操作

1 **受信トレイ▶操作したいスレッドにチェックを付ける、またはスレッドをロングタッチ**

：スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
：スレッドを削除します。
：スレッドのラベルを変更します。メールを分類するのに便利です。
／：スレッドを未読／既読にします。
★／☆：スレッドにスターを付ける、またはスターを外します。
⋮：その他の操作を行います。[重要マークを付ける]／[重要マークを外す]をタップすると重要マークを付け外しできます。[ミュート]をタップするとスレッドを非表示にします。[迷惑メールを報告]をタップすると受信したメールをスパムとして報告します。

お知らせ

- アーカイブしたスレッドを表示するには、受信トレイ▶▶[すべてのメール]をタップします。
- ミュートしたスレッドを表示するには、受信トレイ▶▶[すべてのメール]をタップします。スレッドのラベルを[受信トレイ]にするとミュートが解除されます。

Gmailのオプション設定

1 **受信トレイ▶[☰]▶[設定]**

- Gmail全般の設定やアカウントごとの設定などができます。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- spモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 最大50件保存できます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  - ・国際ローミング中
  - ・通話中
  - ・機内モード中
  - ・電源を入れたあとに表示されるPINコード入力画面表示中
  - ・圏外のとき
  - ・電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  - ・データ通信中
  - ・ソフトウェア更新中
  - ・USB接続で通信中
  - ・本端末のメモリ容量が少ないとき

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の警告音とバイブレーションでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。

- 警告音の音量、バイブレーションは固定されており変更できません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも警告音が鳴ります。鳴らないように設定できます（☞P.167）。

受信したエリアメールを読む

1 **ホーム画面▶ ▶[エリアメール]**

受信エリアメール一覧画面が表示されます。

2 **読みたいエリアメールをタップ**

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 受信エリアメール一覧画面▶ ▶[設定]▶以下の操作を行う

受信設定		エリアメールを利用するかどうかを設定します。
着信音		マナーモード中にエリアメールを受信したとき、警告音を鳴らすかどうかや警告音が鳴る時間を設定します。
受信画面および着信音確認		緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの画面表示や着信音を確認できます。
その他の設定	受信登録	緊急地震速報などの他に受信したいエリアメールの登録／削除を行います。

Googleトーク

Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.89）を設定してください。

オンラインチャット

新しいメンバーを追加する

1 **ホーム画面▶ ▶[トーク]**

友だちリストが表示されます。

2

3 **追加したいメンバーのメールアドレスを入力▶[完了]**

招待に応じる

1 **友だちリスト▶[チャットへの招待]▶[承諾]**

オンラインステータスを設定する

1 **友だちリスト▶自分のアカウントをタップ**

2 **ステータス欄をタップ**

3 **設定したいオンラインステータスをタップ**

- 必要に応じて[ステータスメッセージ]欄にステータスメッセージを入力します。入力したステータスメッセージは、次回オンラインステータスを選択するとき、カスタムメッセージとして表示されます。

4

チャットを開始する

1 友だちリスト▶チャットしたい友だちの名前をタップ

チャット画面が表示されます。

- 2人以上の相手とチャットしているときは、左右にフリックしてチャットの相手を切り替えることができます。

2 [メッセージを入力]欄にメッセージを入力

3 ➤

チャットをオフレコにする

- チャットのメッセージはGmailの[チャット]ラベルに保存されますが、オフレコにすると保存されません。

1 チャット画面▶ ☰ ▶[オフレコにする]

以降のメッセージがオフレコになります。

チャットを終了する

1 チャット画面▶ ☰ ▶[チャット終了]

メンバーを管理する

友だちリストのメンバーは、オンラインステータス別（オンライン、取り込み中、オフライン）に表示されます。
設定によっては、Eメールやチャットの履歴が多いメンバーのみが優先的に表示されている場合があります。登録しているすべてのメンバーを表示するには、友だちリストで[☰]▶[表示オプション]▶[名前]をタップします。

1 友だちリスト▶メンバーの名前をタップ▶[☰]▶[ユーザー情報]

メンバーの情報が表示されます。
- [ブロック]／[削除]をタップすると、メンバーをブロック／削除できます。
- メンバーのブロックを解除するには、友だちリスト▶[☰]▶[設定]▶アカウントをタップ▶[ブロック中の友だち]▶解除したいメンバーをタップ▶[OK]をタップします。

Googleトークのオプション設定

1 友だちリスト▶[☰]▶[設定]▶アカウントをタップ

- Googleトーク全般の設定や、チャットの通知などの設定ができます。

ログアウトする

1 友だちリスト▶[☰]▶[ログアウト]

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧したり、Flashを再生することなどができます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面▶ ▶[ブラウザ]

ホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURLまたはキーワードを入力

- アドレスバーが表示されていない場合は、ウェブページが表示されている箇所を下にドラッグします。
- アドレスバーをタップしてから をタップすると、音声検索ができます。

3 [実行]

- 表示されるアイコンは入力方法によって異なります。
- 候補リストから表示したいウェブページを選択しても検索できます。

ウェブページ表示中の画面操作

操作		説明
縦表示／横表示		☞P.53
拡大／縮小	ピンチアウト／ピンチイン	☞P.52
	ダブルタップ	☞P.51
	ズームコントロール	画面をフリックすると表示されます。で拡大、で縮小します。
スクロール		☞P.52
テキスト選択コピー		画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ▶スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択▶

ウェブページのリンク操作

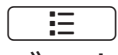
1 **ウェブページ表示中▶リンクをロングタッチ▶以下の操作を行う**

開く	ウェブページを開きます。
新しいタブで開く	ウェブページを新しいタブで開きます。
リンクを保存	ウェブページをmicroSDカードに保存します。
URLをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択してコピー※1	テキストをコピーします。
画像を保存※2	画像をmicroSDカードに保存します。
画像を表示※2	画像を表示します。
壁紙として設定※2	画像をホーム画面の壁紙に設定します。

※1 リンクがテキストなどの場合に表示されます。

※2 リンクが画像などの場合に表示されます。

タブを操作する

1 ウェブページ表示中▶[タブアイコン]

タブ一覧画面が表示されます。

- [タブアイコン]が表示されていない場合は、ウェブページが表示されている箇所を下にドラッグします。

■新しいタブを開く

1 タブ一覧画面▶[＋]

新しいタブが開きます。

- [ブックマークアイコン]をタップすると、ブックマークなどの管理ができます（☞P.175）。
- [メニューアイコン]▶[新しいシークレットタブ]をタップすると、ブラウザの履歴が残らないシークレットモードで新しいタブを開くことができます。

■タブを閉じる

1 タブ一覧画面▶[×]

- タブを左右にフリックしても閉じることができます。

ウェブページ表示中のメニュー

1 ウェブページ表示中▶ [メニュー] ▶以下の操作を行う

再読み込み／停止	ウェブページを再読み込みします／ウェブページの読み込みを停止します。
進む	[戻る]をタップしてウェブページを表示中の場合、直前のウェブページに進みます。
ブックマーク	ブックマーク一覧を表示します。
ブックマークに追加	☞P.175
ページを共有	ウェブページのURLをBluetooth通信やメールなどで送信します。
ページ内を検索	ウェブページ内のテキストを検索します。
PC用サイトを表示	チェックを付けると、パソコン向けのウェブページを表示します。
オフラインで読めるよう保存	表示中のウェブページを保存します（☞P.176）。
設定	ウェブページの表示方法に関する設定やプライバシーとセキュリティの設定などができます。

ブックマーク／履歴／保存したページを管理する

ブックマークを追加する

1 追加したいウェブページを表示▶ ☰ ▶[ブックマークに追加]

2 ラベルなどの項目を確認／変更▶[OK]

ブックマークを編集する

1 ウェブページ表示中▶ ☰ ▶[ブックマーク]▶編集したいブックマークをロングタッチ▶[編集]

2 変更する項目を入力▶[OK]

ブックマークを削除する

1 ウェブページ表示中▶ ☰ ▶[ブックマーク]

2 削除したいブックマークをロングタッチ▶[削除]▶[OK]

履歴からウェブページを表示する

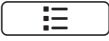
1 ウェブページ表示中▶ ☰ ▶[ブックマーク]▶[履歴]タブ

- 履歴の☆をタップすると、ブックマークに追加できます。

2 表示したいウェブページをタップ

履歴を削除する

1 ウェブページ表示中▶ [メニュー]

2 1件削除する場合
[ブックマーク]▶[履歴]タブ▶削除したい履歴をロングタッチ▶[履歴から消去]
全件削除する場合
[設定]▶[プライバシーとセキュリティ]▶[履歴消去]▶[OK]

- 履歴を消去すると、[よく使用]の履歴も消去されます。

保存したページを表示する

1 ウェブページ表示中▶ [メニュー] ▶[ブックマーク]▶[保存したページ]タブ

2 表示したいウェブページをタップ

- 保存したページの内容を最新の状態にするには、[メニュー] ▶[最新版を表示]をタップします。

保存したページを削除する

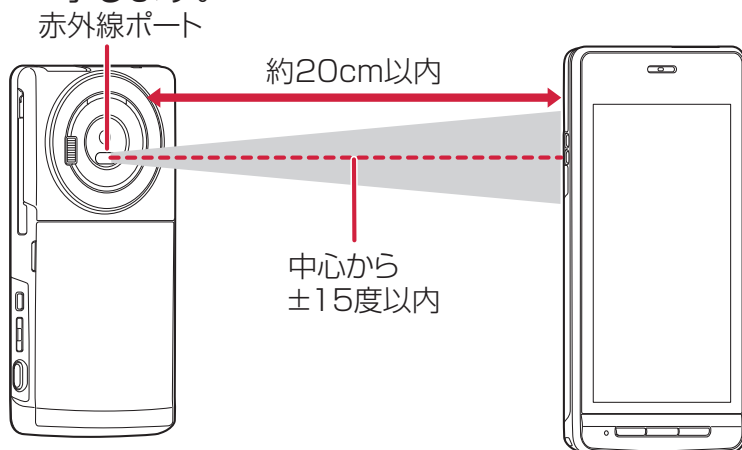
1 ウェブページ表示中▶ [メニュー] ▶[ブックマーク]▶[保存したページ]タブ

2 削除したいウェブページをロングタッチ▶[保存したページを削除]

ファイル管理

赤外線通信

本端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。赤外線通信機能を持つ他の端末などとの間で、データを送受信できます。

- 電話帳、spモードメール、スケジュール、メモ、画像、フィットキー、トルカなどのデータを送受信できます。
- アプリケーションによっては、赤外線通信による共有メニューを選択しても、データを送信できない場合や、受信したデータが利用不可能な場合があります。
- 送信する画像と同じファイル名の画像が受信側にある場合、受信側のファイルが上書きされることがあります。
- データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- 端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下・赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信機能が実行中の場合は、無操作のまま設定時間が過ぎてもスリープモードになりません。
- ⏻を押して手動でスリープモードにした場合、赤外線通信機能は終了します。

赤外線通信でデータを送信する

1 各アプリケーションを起動▶送信したいデータを選択▶[メニューキー]▶赤外線による送信／共有のメニューをタップ

- ギャラリー／ピクチャアルバムで画像を送信する場合は、送信したいデータを選択▶[共有アイコン]▶[赤外線]をタップします。
- フィットキーのパッケージを送信する場合は、文字入力欄をタップ▶キーパッドの[設定アイコン]をロングタッチ▶[カスタマイズ]▶[パッケージ]▶パッケージを選択▶[赤外線送信]をタップします。
- ホーム画面▶[メニューアイコン]▶[赤外線]▶[全件送信]▶[電話帳]／[spモードメール]／[スケジュール&メモ]をタップしても全件送信できます。
- 全件送信する場合は、ドコモアプリパスワードと、受信側と同じ4桁の認証パスワードを入力する必要があります。

2 [OK]▶送信後、[OK]

- 連絡先を1件ずつ送信する場合、グループ名は送信されません。

赤外線通信でデータを受信する

1 ホーム画面▶ ▶[赤外線]

- フィットキーのパッケージを受信する場合は、文字入力欄をタップ▶キーパッドの をロングタッチ▶[カスタマイズ]▶[パッケージ]▶[赤外線受信]をタップします。

2 1件受信する場合

[1件受信]▶[OK]▶[OK]▶[OK]

全件受信する場合

[全件受信]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]▶4桁の認証パスワードを入力▶[決定]▶[OK]▶受信後、[OK]▶[保存する]

- 全件受信する場合は、送信側でも同じ4桁の認証パスワードを入力する必要があります。
- 送信側から送られるデータが1件の場合は、[1件受信]を選択してください。[全件受信]を選択すると受信データを保存できない場合があります。
- 複数のアカウントがあるときに連絡先を受信した場合は、登録するアカウントを選択します。

Bluetooth通信

本端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth機器と無線でデータをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては☞P.269
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■ 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください。（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。）近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。）
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■ 無線LANとの電波干渉について

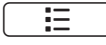
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■ **Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。**

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知器から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

Bluetooth機能を持ったパソコンや携帯電話などと、Bluetooth通信でデータをやりとりできます。また、Bluetoothヘッドセットを接続して、ハンズフリーで通話したり、音楽を聴いたりすることができます。
- あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[Bluetooth]

2 「Bluetooth」をONにする

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 [デバイスの検索]

[使用可能なデバイス]欄に検出されたBluetooth機器が表示されます。
- 本端末名をタップするたびに、他のBluetooth機器からの検出可／不可の状態が切り替わります。検出可能時間は ☰ ▶[表示のタイムアウト]で設定できます。

4 検出されたBluetooth機器を選択してペア設定を行う

5 必要な場合はパスコード（PIN）を入力▶[OK]

ペア設定が完了すると、[ペアリングされたデバイス]欄にペアリングされたBluetooth機器が表示されます。
- 相手のBluetooth機器もパスコード（PIN）が必要な場合は、パスコード（PIN）を入力してください。

お知らせ

- Bluetooth通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。
- Wi-Fiテザリングを有効にすると、Bluetooth機能はOFFになります（☞P.132）。

端末名を変更する

Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名前を変更できます。

1 **Bluetooth設定画面▶[メニュー]▶[端末の名前を変更]▶名前を入力▶[名前を変更]**

Bluetooth通信でデータを送受信する

- アプリケーションによっては、Bluetooth通信による共有メニューを選択しても、データを送信できない場合や、受信したデータが利用不可能な場合があります。

Bluetooth通信でデータを送信する

画像やウェブページのURLなどを他のBluetooth機器に送信できます。

- 各アプリケーションの送信／共有のメニューから操作を行ってください。

Bluetooth通信でデータを受信する

1 **送信側からデータを送信**

データを着信すると、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

2 **通知パネルを開く▶通知をタップ▶[承諾]**

- ステータスバーに[アイコン]が表示されたら、通知パネルを開いて受信が完了したことを確認します。

Bluetooth機器の接続を解除する

1 **Bluetooth設定画面▶解除したい機器の をタップ▶[ペアを解除]**

- 接続を一時的に解除する場合は、解除したい機器名をタップします。

DIGA／DLNA機器接続

Wi-Fi通信を利用して、P-02Dで撮影した静止画を外部機器で表示したり、DIGA機器で録画したテレビ番組などをP-02Dで再生したりできます。

- P-02Dと外部機器を同じアクセスポイントに接続する必要があります（☞P.95）。アクセスポイントはIEEE802.11nの無線ブロードバンドルーターをお選びください。

1 ホーム画面▶ ▶[DLNA]

2 以下の操作を行う

外部コンテンツ操作	接続可能な外部機器の一覧を表示します。外部機器を選択すると、外部機器に保存されているファイルが表示されます。表示されているファイルを本端末で再生したり、ダウンロードしたりできます。
端末内コンテンツ操作	端末内のファイルを表示します。対応した外部機器と接続すると、ファイルを外部機器にアップロードしたり、外部機器でファイルを表示したりできます。
再生フォルダ履歴	過去に再生、データ転送したファイルが格納されている外部機器のフォルダの履歴を表示します。タップするとフォルダを表示します。
アクセス待ち受け	P-02Dを接続待ち状態にし、外部機器側から操作できるようにします。 • 外部機器側の操作については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。
設定	スライドショーの表示間隔など、DLNAに関する設定を行います。

お知らせ

- DIGA機器で録画したテレビ番組をmicroSDカードに保存する場合は、最大99番組まで保存できます。99番組には、P-02Dで録画したワンセグや、レコーダーなど他の機器で録画したものを含みます。
- DIGA機器で録画したテレビ番組をP-02Dに転送する場合は、最大3.86GB（最大5時間25分）まで転送できます。ただし、ビットレートは番組によって異なるため、転送可能な時間は前後します。
  また、転送にかかる時間の目安は、1時間の番組で約20分です。ただし、ご使用の無線LAN環境で多少変わります。

VPN（仮想プライベートネットワーク）接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

VPNを追加する

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[その他...]

2 [VPN]

VPN設定画面が表示されます。
- 認証情報ストレージに関する注意が表示された場合は、[OK]をタップしてロック解除方法を設定してください（☞P.146）。

3 [VPNネットワークの追加]▶ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定▶[保存]

VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。
- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPは利用できません。

VPNに接続する

1 VPN設定画面▶接続したいVPNをタップ

2 必要な認証情報を入力▶[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

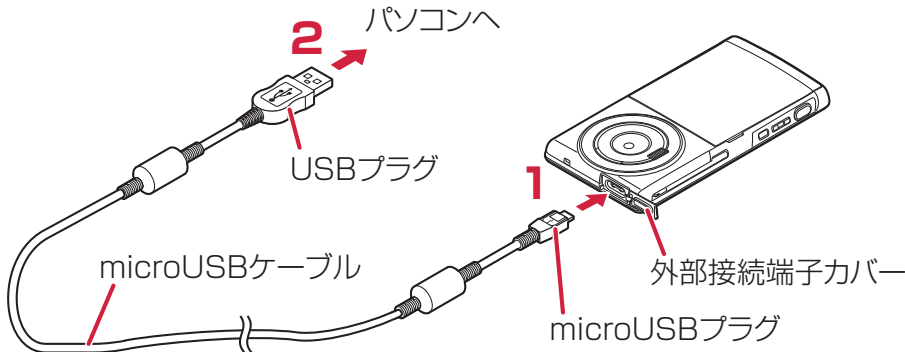
VPNを切断する

1 通知パネルを開く▶VPN接続中を示す通知をタップ▶切断したいVPNをタップ▶[切断]

外部機器接続

パソコンと接続する

付属のmicroUSBケーブルで本端末とパソコンを接続すると、端末のmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、microSDカード内のデータをパソコンから読み書きできます。

- 端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを閉じてからmicroSDカードをパソコンにマウントします。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク（⭠⭢）を上にして外部接続端子に水平に差し込む

- 外部接続端子のカバーをイラストの位置にしてください。外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.32

2 microUSBケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

USBマスストレージ画面が表示されます。

- USBマスストレージ画面を閉じている場合は、通知パネルを開いて通知をタップすると表示されます。

3 [USBストレージをONにする]

- [USBストレージをONにする]が表示された場合は、[OK]をタップします。必要に応じてmicroSDカードを使用するアプリケーションを終了させてください。

4 **パソコン側▶「マイ コンピュータ」／「コンピュータ」／「コンピューター」を開く▶「リムーバブルディスク」を選択**

microSDカード内のデータが表示されます。

5 **端末とパソコンの間で、ファイルをドラッグ＆ドロップ**

お知らせ

- microSDカードがパソコンにマウントされると、カメラなどmicroSDカードを使用するアプリケーションは使用できません。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 **USBマスストレージ画面▶[USBストレージをOFFにする]**

2 **microUSBケーブルを取り外す**

アプリケーション

カメラ

カメラをご利用になる前に

- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- 撮影するときは、端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときや温度異常が発生したときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合や再生不可能なファイルが生成される場合があります。
- [シャッター]などを押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、[シャッター]などを押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 撮影した静止画／動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。撮影する前にmicroSDカードを取り付けてください。
- microSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

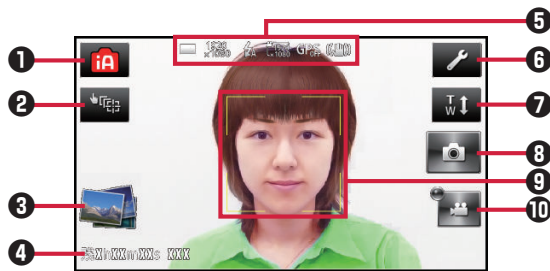
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面を表示する

横向きで撮影します。

1 ホーム画面▶[シャッター]

撮影画面が表示されます。

- ホーム画面以外の画面では[シャッター]を1秒以上押します。また、ホーム画面▶ ▶[カメラ]をタップしても操作できます。
- カメラ起動中はフラッシュ部が赤く点灯します。

撮影画面

❶ 撮影モード：撮影モードを設定できます（☞P.194）。

❷ タップ設定：タップ操作の動作方法を設定できます（☞P.191）。

❸ クイックビューア：簡易ビューアとして撮影した静止画の一覧が表示されます（動画は表示されません）。

❹ 記録可能時間／枚数：動画の記録可能時間（目安）と静止画の残り撮影可能枚数が表示されます。

❺ 設定状態を示すアイコン☞P.191

❻ 設定ボタン：カメラ撮影時の主な設定メニューが表示されます。
ICON ONをタップすると、撮影画面にアイコンやガイドラインを表示するかどうかを設定できます。

❼ ズーム：ズームバーを表示します。

❽ 静止画撮影ボタン：静止画を撮影します。

❾ フォーカスフレーム

❿ 録画開始／終了ボタン：動画の録画を開始／終了します。

■タップ設定のアイコン

アイコン	説明
ZOOM	タップした箇所をズームします。
	タップした箇所にフォーカスを合わせて撮影します。
	タップした箇所の動きを追いかけてフォーカスを合わせ続けます。

■設定状態を示すアイコン

項目	アイコン
連写	OFF、 連写、 おまかせチョイス、 連続撮影
記録画素数	4160×3120 13M、4160×2336 9.7Mワイド、3120×3120 正方形（L）、3264×2448 8M、3264×1836 6Mワイド、2448×2448 正方形（M）、2048×1536 3M、1920×1080 2Mワイド、1536×1536 正方形（S）、640×480 VGA、960×540 QHD、480×480 正方形（メール）
フラッシュ	iオート／オート、 強制発光、 常時点灯、 発光禁止
記録画素数（動画）	1920×1080 フルHD、1280×720 HD、640×480 VGA、320×240 QVGA
GPS設定	GPS ON、GPS OFF OFF
手ブレ補正	OFF OFF、 オート
セルフタイマー	10 10秒、2 2秒

■設定メニューから設定する

1 撮影画面▶[☰]▶以下の操作を行う

- 設定により表示されない項目があります。

カメラ	撮影モード	☞P.194
	連写	連写、おまかせチョイスでは8枚連続撮影できます。連続撮影では[シャッター]を押している間撮影できます。 • 連写、おまかせチョイスの撮影画面で[アイコン]をタップすると、フォーカス動作後にパストモードに切り替わります。パストモードでは[シャッター]を押したときから前の静止画を連続撮影します。
	記録画素数	静止画、連写撮影時の画像サイズを設定します。
	クオリティ	画質を設定します。
	フラッシュ	フラッシュの動作を設定します。
	セルフタイマー	自動でシャッターが切れるまでの時間を設定します。
	インテリジェントISO	撮影時のカメラの感度を設定します。
	露出補正	-1EV（暗い）～+1EV（明るい）で調節します。 • 撮影画面を左右にフリックしても調節できます（一部の撮影画面を除く）。
	ホワイトバランス	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。
	フォーカスモード	フォーカスを設定します。
	暗部補正	背景と被写体の明暗差が大きい場合など、暗い部分を明るく補正できます。
	オートシャッター	[フォーカスモード]の[顔認識]により、検出した顔の数や顔と顔との距離を判別して自動で撮影するように設定します。
	個人認識	個人認識機能を利用して、人物情報を表示するかどうかを設定します。あらかじめ人物情報を登録しておく必要があります（☞P.195）。
	手ブレ補正	撮影時の手ブレを補正します。
	オートサイズズーム	フォーカスロック時に検出している顔や追尾している被写体をズームするように設定します。

動画	**記録画素数**	動画撮影時の画像サイズを設定します。
	動画容量	保存容量を設定します。
設定	**GPS設定**	静止画撮影時に位置情報を付加するかどうかを設定します。
	ガイドライン	撮影時に表示するガイドラインのパターンや水準器を表示するかどうかを設定します。
	自動保存	1枚撮影後にポストビュー画面を表示する際の時間を設定します。
	シャッター音設定	シャッター音を設定します。
	パワーLCD	撮影画面をより明るくし、屋外でも見やすくなるように設定します。 • 撮影画面を上下にフリックしても設定を変更できます（一部の撮影画面を除く）。
	自動アップロード	撮影時に自動的にピクメイトへ画像や動画をアップロードするかどうかを設定します。
	設定初期化	カメラアプリのすべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

お知らせ

- 連写の設定を[OFF]または[連続撮影]から、[連写]または[おまかせチョイス]に変更すると、記録画素数の設定が変更される場合があります。また、[おまかせチョイス]での記録画素数には制限があり、3M（2048×1536）までのサイズに設定されます。
- 手ブレ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、[OFF][オート]の設定によって撮影範囲が異なります。

撮影モードを設定する

撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。お好みの撮影時の設定を[Myオリジナル]に登録しておいて、設定を呼び出して撮影することもできます。

1 撮影画面▶ ☰ ▶[撮影モード]▶以下の操作を行う

- 設定により表示されない項目があります。

インテリジェントオート	撮影する際に、被写体や撮影状況に合わせて撮影モードを自動で判別し、切り替えます。撮影モードが切り替わると、アイコンがアニメーション表示されてお知らせします。
通常撮影	通常のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面に合わせて撮影モードを選択します。
Myオリジナル	Myオリジナルとして登録した設定で撮影します。撮影したい設定を選択して[この設定で撮影]を選択します。 • [自分撮り]、[3D]、[特殊撮影]の[パノラマ撮影]など、一部の設定は登録できません。
マイカラー	色調を切り替えて撮影したり、お好みのエフェクトを加えて撮影したりできます。
ブレピタモード	被写体の動きに合わせてISO感度を変更し、シャッタースピードを上げて撮影することで、手ブレを補正して撮影できます。 • 撮影状況によっては記録画素数が下がる場合があります。
HDR撮影	HDR処理（撮影時に露光を変えた3枚の静止画を撮影して合成する）により、白飛びや黒つぶれの少ない静止画を撮影できます。
自分撮り	自分にカメラを向けて撮影します。人の顔を撮影するのに適した設定に変更され、人の顔を認識すると自動的に撮影されます。
3D	右目用、左目用の2枚の静止画を撮影し、3D用の静止画として撮影できます。 • 撮影した3D画像を本端末で3D表示することはできません。microSDカードなどを利用して3D表示対応機器でご覧ください。

特殊撮影	顔色が美しく映えるように撮影できる美肌撮影や上下または左右方向に広く撮影できるパノラマ撮影で撮影できます。

■HDR撮影について

- 露光の長い撮影をするため、手ブレに注意してください。
- 動いている被写体を撮影すると、乱れた画像になることがあります。
- 動かしながら撮影したり、シャッター音が鳴ってからすぐに動かしたりすると、正しく合成処理が行われません。
- 撮影する場面全体が明るかったり暗かったりする場合、HDR処理の効果が得られない場合があります。

人物の顔情報を登録する

あらかじめ人物の顔画像や名前などの人物情報を登録しておくと、登録した人物の顔が撮影画面に表示された場合、優先順位の高い順に3人までの名前を表示したり、優先的にピントを合わせたりできます。人物情報は6人まで登録できます。

1 **撮影画面▶[☰]▶[個人認識]▶[登録]**

2 **[新規登録]▶登録したい人物の顔を撮影▶[OK]**

3 **名前を入力▶[OK]**

- 顔画像が2枚以上登録されている場合は、顔画像をタップすると削除するかどうかの確認画面が表示されます。

静止画を撮影する

1 **撮影画面▶[シャッター]**

フォーカス動作後にシャッター音が鳴り、静止画を撮影します。
撮影した静止画がmicroSDカードに保存されます。
[自動保存]が[オートレビューなし]以外の場合は、ポストビュー画面が表示されます。

- [シャッター]（半押し）でフォーカスをロックすることもできます。

■[自動保存]が[OFF]でポストビュー画面を表示したときのアイコン

アイコン	説明
共有	ピクメイトへのアップロード、Gmailでの送信などができます。
登録	撮影した静止画を保存し、電話帳の画像またはホーム画面の壁紙に設定します。
保存	撮影した静止画を保存します。

動画を撮影する

1 撮影画面▶

フォーカス動作後に録画開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

2

録画終了音が鳴り、撮影した動画がmicroSDカードに保存されます。

お知らせ

- 電池残量が少ないときは、録画を開始できません。また、録画中に電池残量が少なくなったときは、自動的に録画が終了します。

■録画中に静止画を撮影する

動画を撮影中に[シャッター]を押すと、録画を続けながら静止画を撮影できます。静止画を撮影すると画面の左下にポストビュー画面が約3秒間表示されます。撮影した静止画は、動画撮影が終了したときにmicroSDカードに保存されます。

- 静止画撮影時はシャッター音は鳴りません。
- 1回の録画で撮影できる静止画は10枚までです。

ピクチャアルバム

ピクチャアルバムを起動してmicroSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。

■ 表示できるファイル

対応するファイル形式であっても操作できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	BMP、JPEG、GIF、PNG、MPO
動画	MP4、3GP、WebM

静止画／動画を表示する

1 ホーム画面▶ ▶[ピクチャアルバム]

アルバム一覧画面が表示されます。

- [アルバム]をタップすると、画面の表示方法を切り替えられます。[ロケーション]／[時間]／[人物]／[フリーワード]をタップすると、ファイルを分類して表示します。[人物]の場合は、人物情報が含まれる静止画（☞P.195）のみ分類されます。[フリーワード設定]（☞P.199）でタグを設定すると、[フリーワード]をタップして分類表示できます。
- をタップするとカメラを起動できます。
- ▶[ピクメイトを起動]をタップすると、パナソニックの写真共有サイトピクメイトに静止画や動画をアップロードしたり、アルバムを作成して共有したりできます。

2 表示したいアルバムをタップ

ファイル一覧画面が表示されます。

- アルバム一覧画面、ファイル一覧画面でピンチアウト／ピンチインすると、一覧表示されるサムネイルのサイズを変更できます。
- をタップすると、スライドショーを開始します。

3 **静止画を表示する場合**

表示したい静止画をタップ

拡大画面が表示されます。

動画を再生する場合

再生したい動画をタップ▶ をタップ

起動したいアプリをタップすると、動画の再生が始まります。

■ピクチャジャンプを利用する

アルバム一覧画面やファイル一覧画面でアルバムやファイルをロングタッチ、または拡大画面で表示中の画像をロングタッチすると、ピクチャジャンプを利用できます。画面の端に表示されるアイコンにアルバムやファイルをフリック／ドラッグすることで、メールでの送信やサイトへのアップロード、電話帳の画像や壁紙に登録、静止画の編集、ファイルの削除などができます。
ピクチャジャンプで利用する機能はアルバム一覧画面▶ ▶[ピクチャジャンプ設定]で変更できます。

- 複数のアルバムやファイルを同時に利用する場合は、アルバムやファイルをロングタッチしたあと続けてタップするか、 ▶[アルバムを選択]／[項目を選択]をタップし、操作したいアルバムやファイルをタップします。複数選択中のアルバムやファイルをロングタッチして、削除などの利用したい機能へフリック／ドラッグすることで、まとめてピクチャジャンプを利用できます。

拡大画面の操作

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
- 静止画の場合は、ピンチアウト／ピンチインまたはダブルタップで拡大／縮小できます。
- カメラの[個人認識]（☞P.192）を利用して撮影した静止画の場合は、人物の顔の位置に枠と登録した名前が表示されます。枠をタップすると、人物情報の編集ができます。

アイコン	説明
▶	動画を再生します。
（編集アイコン）	静止画を編集できます（☞P.200）。
（共有アイコン）	Bluetooth通信やメールでの送信、ピクメイトやYouTubeへのアップロードなどができます。

拡大画面のメニュー

1 拡大画面▶ ☰ ▶以下の操作を行う

削除	データを削除します。
スライドショー※1	表示中のデータからスライドショーを開始します。
編集※1	静止画の編集や3Dの静止画を作成します。 • 3Dの静止画は、本端末では2Dの静止画として表示されます。
左に回転※1	静止画を左に90度回転します。
右に回転※1	静止画を右に90度回転します。
トリミング※1	静止画をトリミングします。
詳細情報	ファイルのタイトルなどを表示します。
フリーワード設定※1	静止画にフリーワードタグを設定します。
登録※1	電話帳の画像またはホーム画面の壁紙に設定します。
地図に表示※2	付加されている位置情報の場所を地図上に表示します。

※1 静止画のみ

※2 位置情報が付加されている静止画のみ

静止画を編集する

1 **拡大画面▶**

FX：静止画に特殊効果を加えることができます。
：静止画に落書きすることができます。
：明るさや色合いの調整、変更ができます。
：静止画のトリミングや回転などの加工ができます。

- ／をタップすると、行った編集を元に戻したり、やり直したりできます。

2 **[保存]**

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを起動してmicroSDカードに保存した音楽や動画を再生できます。

- パソコンから音楽データや動画データをコピーする方法については☞P.187

■ 再生できるファイル

対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式（拡張子）
3gp、mp4、m4a、mp3、ogg、wav、webm

曲を再生する

1 ホーム画面▶ ▶[メディアプレイヤー]

曲一覧画面が表示されます。

- [全曲]／[アーティスト]／[アルバム]／[ムービー]／[ストア]をタップしてタブを切り替えることができます。タブを変更するには ▶[設定]▶[アイコンの並べ替え]▶並べ替えたいアイコンをドラッグ▶[決定]をタップします。

2 再生したい曲をタップ

再生画面が表示され、再生が始まります。

：曲一覧画面を表示

：タップするたびに全曲リピート→1曲リピート→リピート解除

：タップするたびにシャッフル／シャッフル解除

／：曲の先頭にスキップ（再生時間が2秒未満の場合は前の曲にスキップ）／次の曲にスキップ

／：一時停止／再生

曲を着信音に設定する

1 曲一覧画面▶ ▶[設定]▶[着信音設定]

2 着信音の種類をタップ▶設定したい曲をタップ▶[設定]

プレイリストを作成する

プレイリストを利用するには、[アイコンの並べ替え]で[プレイリスト]タブを表示するように設定してください。

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[プレイリスト作成]

2 プレイリスト名を編集

3 [プレイリストに曲を追加]▶追加したい曲をタップ▶[決定]▶[完了]▶[OK]

プレイリストの曲を編集する

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶編集したいプレイリストをタップ▶[編集]

2 曲を並べ替える場合
をドラッグして並び替える
曲の登録を解除する場合
登録を解除したい曲をタップ

3 [完了]▶[OK]

プレイリストを削除する

1 曲一覧画面▶[プレイリスト]タブ▶[編集]▶削除したいプレイリストをタップ▶[完了]▶[OK]

- [最近追加した曲]・[最近再生した曲]・[再生回数が多い曲]プレイリストは削除できません。

Playストア

Playストアで便利なアプリケーションや楽しいゲームを探して、本端末にインストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.89）を設定してください。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面▶ ▶[Playストア]

- 初回起動時は利用規約を読み、[同意する]をタップします。

2 アプリケーションを検索してインストール

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。アプリケーションをインストールすると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリケーションの支払いにはGoogle ウォレットを利用できます。アプリケーションのダウンロード後、規定の時間以内であれば、返品して全額払い戻しを受けることができます（各アプリケーションにつき1回のみ）。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Playの画面で ▶[ヘルプ]▶[Androidアプリ]▶[アプリケーションの購入]をご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる場合があります。また、音量が変わる場合がありますのでご注意ください。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールしたアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Playストアからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

GPS／ナビ

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して本端末の位置情報を取得する機能です。
- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- 本端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - ・密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車や電車などの室内
  - ・大雨や雪などの悪天候
  - ・かばんや箱の中
  - ・端末の周囲に障害物（人や物）がある

Googleマップを開く

Googleマップで現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。

- Googleマップを利用するには、3G／GPRSネットワークでデータ通信可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- 位置情報サービスの設定で、Googleの位置情報サービスおよびGPS機能を有効にしてください（☞P.141）。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面▶ ▶[マップ]

地図が表示されます。

- [現在地機能を改善]が表示された場合は、[設定]をタップしてGoogleの位置情報サービスおよびGPS機能を有効にしてください（☞P.141）。
- ▶検索ボックスにキーワードを入力して検索すると、地図上に赤丸または吹き出しが表示されます。赤丸をタップすると吹き出しが表示されます。吹き出しをタップすると、詳細情報やオプションが表示されます。
- をタップすると、現在地を中心に地図を表示します。
- をタップしてローカルを起動すると、近くにあるレストラン、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを見つけることができます。ただし距離や評価、営業時間によるフィルタリング機能は、正しく動作しない場合があります。
- をタップすると、交通状況や航空写真などのレイヤを選択して表示できます。ただし交通状況と路線図は、提供地域が限定されています。
- 2本の指で平行線を描くように画面を上下になぞると、地図が傾斜します。
- 地図上の地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶ をタップすると、ストリートビューを表示できます。

目的地までの経路を検索する

1 地図表示中▶

- ホーム画面▶▶[ナビ]をタップしてGoogleマップナビ（ベータ版）を起動すると、現在地を出発地にした経路検索が簡単に利用できます。

2 出発地と到着地を入力

- をタップして連絡先や地図上の場所を指定できます。

3 （自動車）／（公共交通機関）／（徒歩）▶[経路を検索]

- （自動車）／（徒歩）の場合は、[ナビ]をタップするとGoogleマップナビ（ベータ版）が起動します。

Latitudeで友人の居場所を確認する

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.89）を設定してください。
- 友人と位置情報を共有するには、Latitudeに参加して友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

1 地図表示中▶[マップ]▶[Latitude]

- ホーム画面▶▶[Latitude]をタップして操作することもできます。
- Latitudeについて詳しくは、友達リスト表示中に▶[ヘルプ]をタップしてLatitudeのヘルプをご覧ください。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

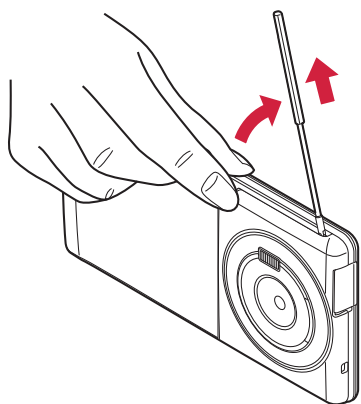
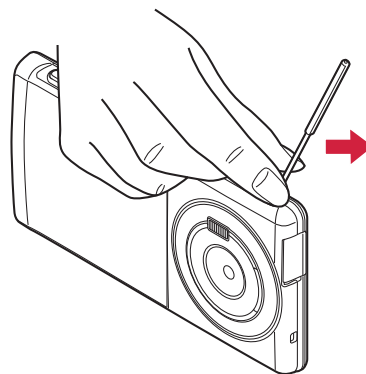
■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。

ワンセグアンテナの先端に指先をかけて引き出し、止まるまで伸ばす

無理に力を加えずに矢印の方向へ動かす

- ワンセグアンテナを収納するときは、無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナの向きを合わせてから倒して収納してください。
- ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。また、通話するときは、ワンセグアンテナを収納してから通話してください。

■充電中の利用について

充電しながらワンセグを利用すると端末の温度が高くなり、温度異常となる場合があります。
温度異常を検知すると温度を下げるために端末の処理負荷を下げる処理が行われ、ワンセグ視聴の映像・音声が乱れたり、ワンセグ録画が異常終了する場合があります。
なお、上記により予約録画が終了した場合、録画予約結果には[予期しないアプリ終了]または[同時起動不可機能起動中のため予約起動失敗]と表示されます。

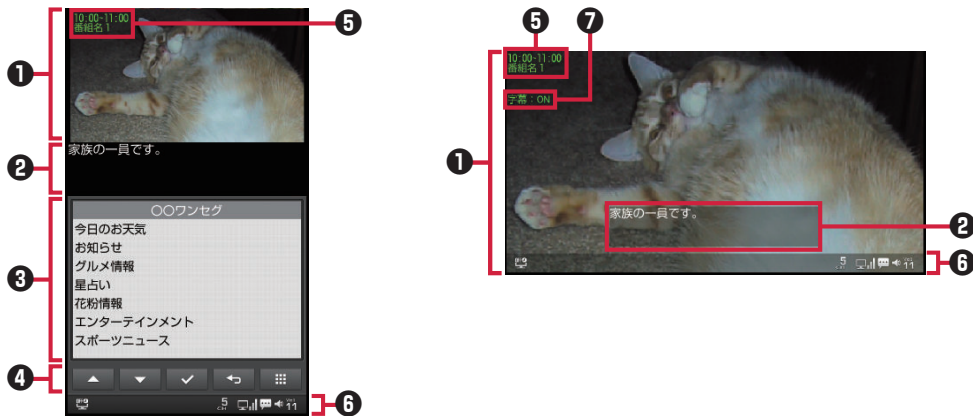
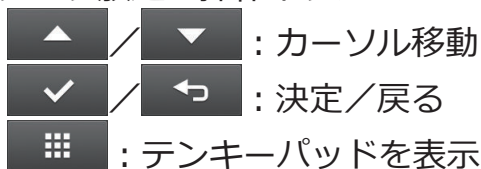
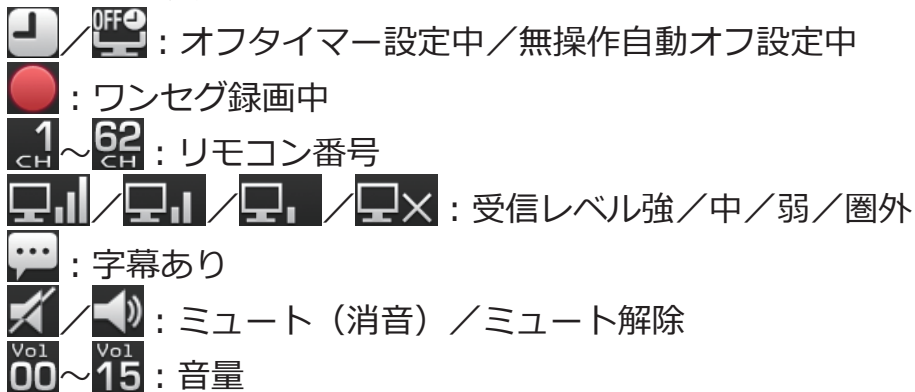
ワンセグを起動する

1 ホーム画面▶ ▶[ワンセグ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します（☞P.213）。

ワンセグ視聴画面

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。
横画面表示にすると映像が全画面で表示されます。

❶ 映像エリア
❷ 字幕エリア※1
❸ データ放送エリア
❹ データ放送の操作ボタン
　▲／▼：カーソル移動
　✓／↩：決定／戻る
　⠿：テンキーパッドを表示
❺ 番組情報※2
❻ ステータス表示エリア※3
　／：オフタイマー設定中／無操作自動オフ設定中
　：ワンセグ録画中
　1CH～62CH：リモコン番号
　／／／：受信レベル強／中／弱／圏外
　：字幕あり
　／：ミュート（消音）／ミュート解除
　Vol 00～Vol 15：音量
❼ 字幕表示設定※2

※1 横画面表示では、字幕が一定時間表示されないと字幕エリアは消えます。
※2 縦／横画面表示を切り替えると表示されます。また、☰を押すか、映像エリアまたは字幕エリアをタップすると表示されます。
※3 横画面表示では、☰を押すか、映像エリアまたは字幕エリアをタップすると表示されます。

- ☰ を押すか、映像エリアまたは字幕エリアをタップすると、選局パネルと機能メニューが表示されます。機能メニューには以下の項目が表示されます。
  [録画]／[停止]：☞P.215
  [番組表]：Gガイド番組表を起動
  [予約]：☞P.216
  [mute]：ミュート（消音）／ミュート解除
  [設定]：☞P.211
  [その他]：受信可能なチャンネルをサーチ選局

ワンセグの設定メニュー

1 ワンセグ視聴画面▶ ☰ ▶[設定]▶以下の操作を行う

視聴・録画予約	視聴予約と録画予約を行います。
予約結果一覧	視聴予約と録画予約の結果を表示します。
チャンネル情報	設定中のチャンネルリストの詳細画面を表示します。
番組情報表示	番組名、チャンネル名、開始／終了日時、番組説明を表示します。
チャンネルリスト選択	☞P.213
チャンネル設定	☞P.213
チャンネル追加登録	設定中のチャンネルリストに、視聴中のチャンネルを登録します。
ディスプレイ表示切替	縦画面表示のときデータ放送を全画面で表示するかどうかを設定します。
字幕表示設定	字幕のON／OFFを設定します。
縦横表示切替	端末の持ちかたに応じてワンセグ視聴画面の縦／横画面表示を自動で切り替えるか、縦／横画面表示に固定するかを設定します。
オフタイマー	指定した時間が過ぎたら、確認画面を表示してワンセグを終了します。[OFF]を選択すると、オフタイマーを設定しません。
明るさ設定	[システムの設定に合わせる]のチェックを外すと、ワンセグ視聴画面のみに適用される明るさを設定できます。
主／副音声設定	副音声を放送している番組では、主音声／副音声／両方同時を設定することができます。

音声切替	複数の音声を放送している番組で、音声1／音声2を設定します。
音量設定	音量を設定します。 • ▲／▼でも音量を設定できます。
効果音設定	データ放送の効果音のON／OFFを設定します。
確認表示リセット	[以後確認しない]にチェックを付けて表示されなくなった確認画面を再び表示させます。
データ放送へ戻る	データ放送からリンク先の通信コンテンツを表示しているとき、データ放送に戻ります。
サービス選局	同じチャンネル内に複数のサービス（番組）が放送されている場合に、視聴するサービスを選択します。
TVリンク	☞P.214
無操作自動オフ設定	無操作のまま指定した時間が過ぎた場合、確認画面を表示してワンセグを終了します。[OFF]を選択すると、無操作自動オフ設定を設定しません。 • オフタイマーが設定されているときは、オフタイマーが優先されます。
チャンネル設定リセット	チャンネルリストをすべて削除し、未登録の状態にします。
放送用保存領域削除	系列放送局ごとに保存された放送用データを削除します。
TV設定リセット	ワンセグの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

チャンネルを設定する

チャンネルリストを設定する

視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します。

1 **ワンセグ視聴画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[チャンネル設定]▶以下の操作を行う**

地域選択	地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを設定します。
現在地から設定	現在地で受信可能なチャンネルを検索し、検出されたチャンネルをチャンネルリストに自動登録します。

お知らせ

- 放送局の周波数が変更された場合や、地域によっては[地域選択]ではチャンネルを正しく登録できないことがあります。その場合は、[現在地から設定]でチャンネルリストを設定してください。

チャンネルリストを切り替える

1 **ワンセグ視聴画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[チャンネルリスト選択]**

チャンネルリスト選択画面が表示されます。

2 **設定したいチャンネルリストをタップ**

チャンネルリストを編集する

- 設定中のチャンネルリストは編集できません。

1 **チャンネルリスト選択画面▶編集したいチャンネルリストをロングタッチ▶[チャンネル情報]▶チャンネルをロングタッチ▶以下の操作を行う**

リモコン番号設定	リモコン番号を変更したいチャンネルをタップし、新しいリモコン番号を選択します。
1件削除	選択したチャンネルをチャンネルリストから削除します。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連サイトへのTVリンクを登録できます。登録したTVリンクからメモ情報を見たり関連サイトに接続できます。

TVリンクを登録する

1 **データ放送エリアでTVリンク登録可能な項目を選択▶[はい]**

- TVリンクの登録方法は番組によって異なります。

TVリンクから情報を表示する

1 **ワンセグ視聴画面▶ ☰ ▶[設定]▶[TVリンク]**

TVリンク一覧画面が表示されます。
MEMO：メモ情報
BML：リンク通信コンテンツ
HTML：HTMLコンテンツ
!：有効期限切れ（表示不可）

2 **情報を表示したいTVリンクをタップ**

TVリンクのショートカットをホーム画面に作成する

1 **TVリンク一覧画面▶ショートカットを作成したいTVリンクをロングタッチ▶[ショートカット作成]**

TVリンクを削除する

1 **TVリンク一覧画面**

2 **1件削除する場合**
削除したいTVリンクをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

全件削除する場合
[メニュー]▶[全件削除]▶[はい]

複数選択して削除する場合
[メニュー]▶[複数件削除]▶削除したいTVリンクにチェックを付ける▶[メニュー]▶[削除]▶[はい]

ワンセグを録画する

1 **ワンセグ視聴画面▶[メニュー]▶[録画]**

録画が始まります。

2 **[メニュー]▶[停止]▶[はい]**

録画データがmicroSDカードに保存されます。

お知らせ

- 録画中にSDカードのマウント解除（☞P.137）やUSBストレージをONにする操作（☞P.187）を行わないでください。
  録画データが正しく保存されません。

録画データを再生する

1 **ホーム画面▶[アプリ一覧]▶[SDビデオ]**

2 **再生したい録画データをタップ**

視聴や録画を予約する

1 ワンセグ視聴画面▶［メニュー］▶［予約］▶［予約登録］

2 ［録画］タブ／［視聴］タブ▶［メニュー］▶［新規］

3 各項目を設定▶［登録］

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機に本端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

- 本端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなどを含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 端末の盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- 充電中は、iC通信によるデータ送信はできません。
- 電池パックを付け外ししたあとや、電池が切れたあとにおサイフケータイを利用するには、一度電源を入れるか電池を充電する必要があります。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。
iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応のアプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応のアプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面▶ ▶[おサイフケータイ]

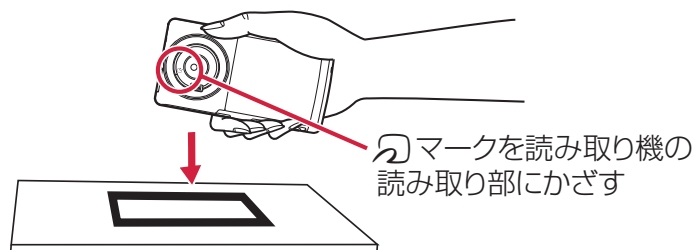
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。

2 利用したいサービスをタップ

読み取り機にかざす

本端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 読み取り機にかざすときは次のことに注意してください。
  - ・端末を読み取り機にぶつけない
  - ・ マークと読み取り機を平行にかざす
  - ・ マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
  - ・読み取り機に認識されないときは、 マークを前後左右にずらしてかざす
  - ・ マーク面に金属物などをつけない

1 マークを読み取り機にかざす

おサイフケータイ ロックを設定する

他人に無断でおサイフケータイの機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得などを使用できないようにします。

- おサイフケータイ ロックを解除するには、同様の操作を行います。

1 ホーム画面▶ ▶[おサイフケータイ]

2 [ロック設定]▶[おサイフケータイ ロック]

3 端末パスワードを入力▶[OK]▶[OK]

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

- 初回起動時はソフトウェア利用許諾契約書を読み、[同意する]をタップします。

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得／更新／トルカの共有／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい場合は、「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

YouTube

YouTubeはGoogleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画再生や投稿などができます。

1 ホーム画面▶ ▶[YouTube]

2 動画を再生する場合
画面左上の[YouTube]をタップ▶カテゴリをタップ▶再生したい動画をタップ

- 画面をタップし、 ／ をタップすると一時停止／再開します。
- 横画面表示では[HQ]をタップして高画質（HQ）再生のON／OFFを切り替えます。

動画を投稿する場合
画面左上の[YouTube]をタップ▶自分のアカウントをタップ▶ ▶動画を選択▶必要な項目を入力▶[アップロード]

- 自分のアカウントを設定していない場合は、[ログイン]をタップしてアカウントを設定してから上記手順を行います。

時計

本端末を卓上時計として使用できます。

1 ホーム画面▶[▼]▶[時計]

時計画面が表示されます。

- 背景をタップすると画面が暗くなります。元の明るさに戻すには、背景を再度タップします。
- スリープモードにならないまま無操作の状態で数分たつとスクリーンセーバーモードになり、日付と時刻のみが表示されます。画面をタップすると時計画面に戻ります。

アラームを設定する

1 時計画面▶[アラームを設定]

アラーム画面が表示されます。

2 [アラームの設定]▶アラーム時刻を設定

3 必要に応じてその他の項目を設定

4 [OK]

アラームを停止／スヌーズを設定する

アラーム通知画面で[停止]をタップすると、アラームが止まります。[スヌーズ]をタップすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。スヌーズを解除するには、通知パネルを開いて[アラーム（スヌーズ）]をタップします。

アラームの詳細設定

1 アラーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶以下の操作を行う

マナーモード中のアラーム	チェックを付けると、マナーモード中でもアラームが鳴ります。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム通知画面でスヌーズを設定した場合に、次にアラームが鳴るまでの時間を設定します。
自動消音	通知音の鳴動時間を設定します。
音量ボタン	アラームが鳴っているときに[▲]／[▼]を押したときの動作（なし／スヌーズ／解除）を設定します。
デフォルトの着信音を設定	アラームの通知音を設定します。

カレンダー

本端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期させて、スケジュールを管理できます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.89）を設定してください。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面▶ ▶[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- 画面左上の年月をタップ▶[日]／[週]／[月]／[予定リスト]をタップして、表示形式を切り替えます。

同期／表示するカレンダーを設定する

Googleなどのオンラインサービスで複数のカレンダーを使用している場合は、本端末と同期するカレンダーおよび本端末で表示するカレンダーを設定します。

1 カレンダー画面▶ ▶[表示するカレンダー]▶表示したいカレンダーのアカウントにチェックを付ける

2 [同期するカレンダー]▶同期したいカレンダーのアカウントにチェックを付ける

3 [OK]

予定の詳細を表示する

1 カレンダー画面▶予定をタップ

- 月表示の場合は、予定のある日をタップしてから予定をタップします。

予定を登録する

1 **カレンダー画面▶［メニューアイコン］▶[予定を作成]**

2 **タイトル、場所、日時、内容などを入力**

- 複数のカレンダーを設定している場合は、登録するカレンダーのアカウントを選択します。
- [ゲスト]欄にメールアドレスを入力し、予定に参加してもらいたい人に招待状を送付できます。
- [通知を追加]をタップすると通知を増やすことができます。

3 **[完了]**

予定が通知されたら

ステータスバーに［1］が表示されたら、以下の操作で通知を解除／スヌーズを設定します。

1 **通知パネルを開いて通知をタップ**

- 予定をタップして詳細を表示すると、通知が解除されます。

2 **以下の操作を行う**

すべてスヌーズ	すべての予定の通知を5分間スヌーズします。
通知を消去	すべての予定の通知を解除します。

カレンダーの設定を変更する

1 **カレンダー画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[全般設定]▶以下の操作を行う**

辞退した予定を非表示	参加を辞退した予定を非表示にします。
第何週かを表示	週表示の場合、画面左上に1年のうちの第何週かを表示します。
週の開始日	週の始まりの曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	チェックを付けると、ローミング中もホームのタイムゾーンでカレンダーの時刻を表示します。
自宅タイムゾーン	[自宅タイムゾーン]にチェックを付けている場合に、自宅のある地域のタイムゾーンを指定します。
検索履歴を消去	検索履歴を消去します。
通知	予定を通知するかどうかを設定します。
着信音の選択	通知時に鳴らす音を設定します。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
バイブレーション	通知時にバイブレーションを常にON／OFFにするか、またはマナーモード設定中のみONにするかを設定します。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
ポップアップ通知	通知時にステータスバーに[1]が表示されると同時に通知画面が表示されます。 • [通知]にチェックを付けている場合のみ設定できます。
デフォルトの通知時間	予定開始時刻の何分／時間／日前に通知するかを設定します。

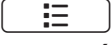
メモ

メモを作成する

1 ホーム画面▶ ▶[メモ]

メモ一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]▶必要な項目を入力▶[保存]

- メモ一覧画面でメモをタップすると、メモの詳細を確認できます。ロングタッチすると、メモの編集などができます。
- メモ一覧画面で[検索]／[削除]をタップすると、メモを検索／削除できます。

メモ一覧画面のメニュー

1 メモ一覧画面▶ ▶以下の操作を行う

スケジュールへ	スケジュールを起動します。
センターと同期	メモをバックアップセンターにバックアップします。
SDカード	メモをインポート／エクスポートします。
アカウント変更	アカウントごとのメモを表示します。
全件削除	表示しているアカウントのメモを全件削除します。
ヘルプ	メモとスケジュールのヘルプを表示します。
アプリケーション情報	メモアプリとスケジュールアプリのバージョンなどを表示します。

電卓

1 ホーム画面▶ ▶[電卓]

2 画面上部の数式欄に数式を入力▶[＝]

- ボタン表示部を左右にフリックするか、 ▶[関数機能]／[標準機能]をタップして、関数画面／基本演算画面を切り替えます。
- 数式欄をロングタッチすると、数式の切り取り／コピー／貼り付けができます。
- [削除]をタップして入力した文字を消去します。[削除]をロングタッチすると、数式全体が消去されます。

お知らせ

- Bluetooth接続のキーボードなどの外部機器を利用すると、演算の履歴を表示することができます。履歴を消去するには ▶[履歴消去]をタップします。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- SDカードバックアップについて詳しくは、SDカードバックアップ起動中に[メニュー]▶[ヘルプ]をタップしてヘルプをご覧ください。

データをmicroSDカードにバックアップする

1 ホーム画面▶[アプリ]▶[SDカードバックアップ]

SDカードバックアップメニュー画面が表示されます。

2 [バックアップ]▶バックアップしたいデータにチェックを付ける▶[バックアップ開始]▶[OK]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

選択したデータがmicroSDカードにバックアップされます。

データを端末に復元する

1 SDカードバックアップメニュー画面▶[復元]

2 復元したいデータの種別を選択▶復元したいデータにチェックを付ける▶[選択]▶[追加]／[上書き]

3 [復元開始]▶[OK]▶ドコモアプリパスワードを入力▶[OK]

選択したデータが本端末に復元されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **SDカードバックアップメニュー画面▶[電話帳アカウントコピー]▶コピーしたいGoogleアカウントを選択**

2 **[上書き]／[追加]**

コピーした電話帳データがdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 画像、動画ファイルなどmicroSDカードに保存されているデータはバックアップできません。
- microSDカードの空き容量が不足していると、バックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足していると、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

エコナビ

ecoモードに切り替えることで、電池の消費を抑えることができます。設定した電池残量を下回ると、自動でecoモードに切り替わる[オートeco]にも設定できます。

ecoモードに切り替える

1 通知パネルを開く▶[ecoモード]

- タップするたびに[AUTO]（オートeco）／[ON]／[OFF]を切り替えます。

ecoモードの設定

1 通知パネルを開く▶ECO

2 [詳細設定画面へ]▶以下の操作を行う

オートecoモード設定	ecoモードに切り替わる電池残量を設定します。 [常時OFF]に設定すると、自動的にはecoモードに切り替わりません。 [常時ON]に設定すると、電池残量にかかわらず常にecoモードになります。
ecoモード運転時の設定	ecoモード中の各種機能の動作を設定します。

3 [OK]

お知らせ

- [スリープ時にWi-Fi接続を維持]を[常に使用する]に設定している場合は、[ecoモード運転時の設定]の[Wi-Fi]にチェックを付けていても、Wi-Fiの切断が行われないため、Wi-Fiは無効になりません（☞P.97）。

バーコードリーダー

カメラを使ってQRコードやJANコードを読み取り、読み取った文字の内容に応じて電話発信やメール送信、電話帳登録、ウェブサイト表示などができます。

- QRコードのバージョン、種類やサイズによっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射によっては読み取れない場合があります。

■QRコードとJANコードについて

QRコード	縦・横方向でデータを表現している2次元コードです。 本端末では最大16個の連結QRコードを読み取ることができます。	例）読み取れる情報： 株式会社NTTドコモ
JANコード	幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。 本端末では8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のJANコードを読み取ることができます。	4 942857 112597 例）読み取れる情報： 4942857112597

QRコード／JANコードを読み取る

1 ホーム画面▶ ▶[バーコードリーダー]

撮影画面が表示されます。

：メニューを表示

：履歴画面を表示

／ ：読み取りを中断／再読み取り

：バーコードリーダーを終了

2 撮影画面にQRコード／JANコードを表示

読取結果画面が表示されます。

3 読み取った文字をタップ

文字の内容に対応するメニューが表示されます。

- タイトルバーを左右にフリックして、全文表示画面／読取結果画面を切り替えます。
- をタップすると、撮影画面に戻ります。
- 各画面の操作については、 ▶[ヘルプ]をタップして表示される機能説明を参照してください。

お知らせ

- 読取結果画面▶ ▶[共有する]をタップして、[Bluetooth]／[Facebook]を選択しても、読み取った内容がURL情報でない場合、正しく共有されません。
- 共有先アプリケーションによっては、利用前にログインが必要な場合や、アプリケーション側の制約により正しく共有されない場合があります。

Polaris Office

OfficeドキュメントやPDFファイルなど、microSDカードに保存したパソコン向け文書を表示できます。

■表示できるファイル

- 搭載していないフォントを使用したドキュメントはフォントを置換して表示するため、正しく表示されない場合があります。
- 対応するファイルであっても表示できない場合があります。

ファイルの種類
Wordファイル （Microsoft Word 97、2003、2007、2010）
Excelファイル （Microsoft Excel 97、2003、2007、2010）
PowerPointファイル （Microsoft PowerPoint 97、2003、2007、2010）
PDFファイル （Adobe PDF 1.2～1.7）
テキストファイル （シフトJIS、UTF-8）

ドキュメントを表示する

1 ホーム画面▶ ▶[Polaris Office]

- ユーザー登録画面が表示された場合はユーザー登録を行うか、[スキップ]をタップします。

2 目的のフォルダから、表示したいドキュメントをタップ

- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小できます。

お知らせ

- フォルダやドキュメントの選択画面▶ ☰ ▶[新規]をタップすると、Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイルを新規作成できます。
- Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイルを表示▶ ☰ ▶[編集モード]をタップすると、ドキュメントを編集できます。
- 本アプリが対応していない機能は、正しく保存されない場合があります。
- テキストファイルを表示▶ ☰ ▶[ファイルを送る]▶[Facebook]／[Twitter]をタップしても、テキストファイルは送信されません。
- 送信先アプリケーションによっては、利用前にログインが必要な場合や、アプリケーション側の制約により正しく受け取れない場合があります。

iD設定アプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD設定アプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（http://id-credit.com/）をご覧ください。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、メッセージ（SMS）は設定の変更なくご利用になれます。

- 対応ネットワークについて
  本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  ・ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国･地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※1	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、[データローミング]にチェックを付けてください（☞P.243）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は「総合お問い合わせ先」（☞P.298）までお問い合わせください。

料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。 渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[通信事業者]の設定で[利用可能なネットワーク]を[自動選択]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します（☞P.242）。
定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

- ステータスバーには（ローミング中）が表示されます。パケット通信が可能な場合でもネットワークの種類（3G／GSM）は表示されません。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

日付と時刻について

[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- ☞P.153「日付と時刻」

お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、「海外での紛失、盗難、精算などについて」(☞P.297)をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、滞在先で利用可能な通信事業者のネットワークを自動的に検出して接続するように設定されていますが、手動で設定を変更できます。

ネットワークモードを設定する

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]▶以下の操作を行う**

3G／GSM（自動）	利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
3G	3Gネットワークを利用します。
GSM	GSMネットワークを利用します。

接続する通信事業者を設定する

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[その他...]**

2 **[モバイルネットワーク]▶[通信事業者]**

ネットワークの検索が行われ、利用可能なネットワーク画面に通信事業者の一覧が表示されます。

- [ネットワークを検索]をタップすると、再検索できます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]（☞P.130）のチェックを外して再度実行してください。

3 **接続したい通信事業者をタップ**

- 接続する通信事業者を自動で設定する場合は、[自動選択]をタップします。

お知らせ

- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合は、日本帰国後に利用可能なネットワークを[自動選択]に設定してください。

データローミングを設定する

1 ホーム画面▶ [メニューキー] ▶[本体設定]▶[その他...]

2 [モバイルネットワーク]▶[データローミング]にチェックを付ける▶[OK]

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶＋（[0]をロングタッチ）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号の順に入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
- 「＋」や国番号を入力せずに、 ▶[国際電話発信]をタップすると国番号や国際プレフィックスを選択して発信できます。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.246）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、「0」で始まる地域番号（市外局番）から入力して発信できます。

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **ホーム画面▶ ▶[電話]**

2 **[ダイヤル]タブ▶地域番号（市外局番）を含む電話番号を入力**

- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

- [国際ダイヤルアシスト]（☞P.246）で[自動変換機能]にチェックを付けている場合は、[元の番号で発信]をタップします。

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミング時の設定を行う

1 **ホーム画面▶ ▶[本体設定]▶[通話設定]**

2 **[海外設定]▶以下の操作を行う**

<table>
<tr><td colspan="2">ローミング時着信規制</td><td>ローミング中に着信を受け付けないように設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミング着信通知</td><td>ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報をメッセージ（SMS）にてお知らせします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ローミングガイダンス</td><td>ローミング中に電話がかかってきたときに、相手にローミング中であることを通知するガイダンスを流します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">国際ダイヤルアシスト</td><td>[自動変換機能]にチェックをつけると、国際電話の発信時に国番号や国際プレフィックスを付加して発信できます。また、国番号や国際プレフィックスの追加／編集／削除もできます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ネットワークサービス</td><td>遠隔操作（有料）</td><td rowspan="6">海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。
• あらかじめ「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。
• 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。
• 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>番号通知お願いサービス（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミング着信通知（有料）</td></tr>
<tr><td>ローミングガイダンス（有料）</td></tr>
<tr><td>留守番電話サービス（有料）</td></tr>
<tr><td>転送でんわサービス（有料）</td></tr>
</table>

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- [ネットワークモード]を[3G／GSM（自動）]に設定してください（☞P.242）。
- [通信事業者]の設定で[利用可能なネットワーク]を[自動選択]に設定してください（☞P.242）。

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック P26
- リアカバー P54
- 卓上ホルダ P48
- ACアダプタケーブル P01※1
- ACアダプタ 03※1
- microUSB接続ケーブル 01
- DCアダプタ 03
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- ポケットチャージャー 01/02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- キャリングケース 02
- 車内ホルダ 01
- イヤホンマイク 02
- ステレオイヤホンマイク 02
- イヤホン変換アダプタ 02
- Bluetoothヘッドセット F01※3
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02/03
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- ドライブネットクレイドル 01

※1 充電方法については☞P.46

※2 microUSBケーブルを接続してご利用ください。

※3 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（☞P.261）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.298）または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（☞P.45）。 • 電池切れになっていませんか（☞P.46）。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない（充電ランプが点灯しない、またはステータスバーに充電異常アイコンが表示される）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか（☞P.45）。 • 付属のACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか（☞P.47、P.49）。 • 付属のmicroUSBケーブルが、本端末および卓上ホルダまたはACアダプタと正しく接続されていますか（☞P.47、P.49）。 • 本端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源が入っていますか（☞P.49）。 • 卓上ホルダを使用する場合、端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、端末の温度が上昇してステータスバーに温度異常アイコンが表示される場合があります。その場合は、端末を一度ACアダプタケーブル（または卓上ホルダ）から外して、端末の温度が下がってから再度充電を開始してください。

■端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	● 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、端末や電池パック、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください（☞P.23、P.24、P.46）。
電池の使用時間が短い	● 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています（☞P.270）。 ● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります（☞P.270）。 ● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください（☞P.46）。
電源断・再起動が起きる	● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください（☞P.22）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときに動作しない	● スリープモードになっていませんか。 ⏻または⌂を押してスリープモードを解除してください（☞P.50）。 ● 電源を入れ直してください（☞P.50）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● 端末に大量のデータが保存されているときや、端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモminiUIMカードが認識しない	● ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（☞P.41）。

症状	チェックする箇所
時計がずれる	● 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 [日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定]にチェックが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください（☞P.153）。
端末動作が不安定	● ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から⏻を2秒以上押し、ドコモのロゴが表示されたときからホーム画面が表示されるまで▮を押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。 ● [開発者向けオプション]は開発専用に設計されているため、設定すると端末や端末上のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	● 無効にしているアプリケーションはありませんか。無効にしているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください（☞P.138）。

■通話

症状	チェックする箇所
[📞]をタップしても発信できない	• 機内モードになっていませんか（☞P.130）。
着信音が鳴らない	• 着信音量をサイレントにしていませんか（☞P.135）。 • マナーモードを設定していませんか（☞P.103）。 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか（☞P.118、P.120）。
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを取り付け直してください（☞P.41、P.45、P.50）。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（[アンテナ]）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[しばらくお待ちください。]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■画面

症状	チェックする箇所
ディスプレイが暗い	• 画面の明るさを変更していませんか（☞P.136）。 • エコナビを設定していませんか（☞P.231）。

■音声

症状	チェックする箇所
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか（☞P.106）。

■メール

症状	チェックする箇所
メールを自動で受信しない	• メールのアカウント設定で受信トレイの確認頻度を[自動確認しない]に設定していませんか（☞P.162）。

■カメラ

症状	チェックする箇所
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください（☞P.189）。 • 人物を撮影するときは、[フォーカスモード]を[顔認識]に設定するか、[撮影モード]を[シーン]の[人物]に設定してください（☞P.192、P.194）。 • [手ブレ補正]を[オート]に設定して撮影してください（☞P.192）。

■ワンセグ

症状	チェックする箇所
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか（☞P.208）。 • チャンネル設定をしていますか（☞P.213）。

■おサイフケータイ

症状	チェックする箇所
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります（☞P.45）。 • おサイフケータイ ロックを起動していませんか（☞P.219）。 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか（☞P.219）。

■海外利用

症状	チェックする箇所
海外で端末が使えない	● アンテナマークが表示されている場合 ・WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 ● 圏外が表示されている場合 ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 ・ネットワークモードや通信事業者を変更してみてください。 [ネットワークモード]を[3G／GSM(自動)]に設定してください（☞P.242）。 [通信事業者]でサービスに対応している通信事業者を検索してください（☞P.242）。 ・端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直すことで回復する場合があります（☞P.50）。
海外でデータ通信ができない	● [データローミング]にチェックを付けてください（☞P.243）。
海外で利用中に、突然端末が使えなくなった	● 利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください（☞P.297）。
海外で電話がかかってこない	● [ローミング時着信規制]を「規制開始」に設定していませんか（☞P.246）。 ● ネットワークモードを[3G／GSM（自動）]以外に設定していませんか（☞P.242）。

症状	チェックする箇所
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■データ管理

症状	チェックする箇所
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを挿入し直してください（☞P.43）。
画像表示しようとすると や が表示される　または　デモやプレビューで や が表示される	• 画像データが壊れている場合は や が表示される場合があります。

■Bluetooth機能

症状	チェックする箇所
Bluetooth機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth機器（市販品）と本端末の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください（☞P.181）。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください（☞P.50）。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
挿入されたSIMカードは、この携帯電話機では使用出来ません。 有効なSIMカードを挿入してください。	他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。
電池残量が不足しています 処理を開始できません	電池残量が少ない状態で[SDバックアップ]を開始しようとしたときに表示されます。 十分充電してから再度操作してください（☞P.46）。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、「故障お問い合わせ先」（☞P.298）にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、「故障お問い合わせ先」（☞P.298）へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

P-02Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。
自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新：今すぐ更新を行います。
予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- ソフトウェア更新を行う際は、空き容量が十分なmicroSDカードを挿入してください。空き容量が不足している旨のメッセージが表示された場合は、microSDカードのデータを削除してから再度実行してください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・通話中
  - ・圏外が表示されているとき※
  - ・国際ローミング中※
  - ・機内モード中※
  - ・テザリングを有効にしているとき
  - ・OSバージョンアップ中
  - ・日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
  - ・ソフトウェア更新に必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ダウンロード中は電話の着信は可能です。ただし、電話の着信時はダウンロードが中断されます。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません]と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたメッセージ（SMS）は、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のP-02D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。お手数ですが、お近くのショップへお持ちください。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が[自動で更新を行う]に設定されています。

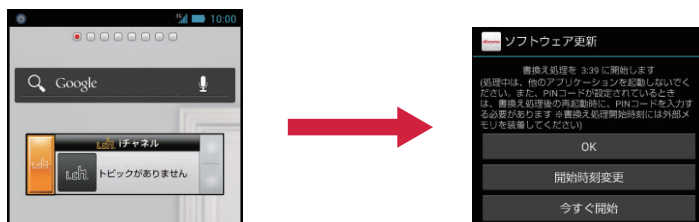
1. **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]**
2. **[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]**
3. **[自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]**

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 通知パネルを開く▶通知をタップ

書き換え時刻が表示されます。

2 設定時刻に書き換えを行う場合

[OK]

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

書き換え時刻を変更する場合

[開始時刻変更]

- 予約更新☞P.266「ソフトウェアの予約更新」

今すぐ書き換えを行う場合

[今すぐ開始]

- 即時更新☞P.265「ソフトウェアの即時更新」

お知らせ

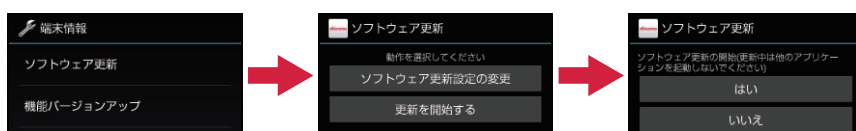
- ソフトウェア書き換えが開始できなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェアを更新します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]

2 [ソフトウェア更新]▶[更新を開始する]▶[はい]

書き換え予告画面から起動する場合

書き換え予告画面を表示▶[今すぐ開始]

3 [ソフトウェア更新を開始します。]表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- [OK]をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1. **書き換え予告画面を表示▶[開始時刻変更]**
2. **時刻を入力▶[設定]**

予約した時刻になると

開始時刻になるとソフトウェア更新開始画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

お知らせ

- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にP-02Dの電源がOFFの場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

機能バージョンアップを行う

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]**

3 **[ソフトウェア更新]▶[はい]▶[はい]▶[今すぐ更新]**

更新ファイルがダウンロードされます。

- [予約登録]を選択した場合は、ダウンロード開始時刻を設定し、[はい]をタップします。

4 **[今すぐ更新]**

- 端末が再起動し、書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 書き換えが完了すると再起動がかかり、ステータスバーに⬇が表示されます。
- [あとで通知]を選択した場合は、翌日に再度機能バージョンアップを行うかどうかの確認画面が表示されます。また、通知パネルを開いて通知をタップしても、確認画面を表示できます。

5 **通知パネルを開く▶通知をタップ▶更新結果を確認▶[OK]**

最新のソフトウェアを自動検索する

1 **ホーム画面▶ [メニュー] ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]▶[設定]**

3 **[自動検索]にチェックを付ける▶[OK]**

お知らせ

- 自動検索には通信料がかかる場合があります。

microSDカードから更新する

- あらかじめ新しいソフトウェアをパナソニックのサイトから入手し、microSDカードの「Download」フォルダに保存してください。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]**

2 **[機能バージョンアップ]▶[microSDから更新]▶[OK]**

新しいソフトウェアをmicroSDカードから検索します。

3 **[OK]**

- 端末が再起動し、書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのタッチ操作やボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 書き換えが完了すると再起動がかかり、更新結果が表示されます。

4 **[OK]**

主な仕様

■本体

項目		仕様
品名		P-02D
サイズ		高さ約123mm×幅約64mm×厚さ約10.2mm（最厚部約12.4mm）
質量		約128g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 2048MB RAM 1024MB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約400時間
	GSM	静止時（自動）：約300時間
連続通話時間	FOMA／3G	約270分
	GSM	約370分
ワンセグ	視聴時間	約210分
充電時間		ACアダプタ：約200分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約4.0inch
	ドット数	横540ドット×縦960ドット
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.0inch
カメラ	カメラ有効画素数	約1320万画素
	記録画素数（最大時）	約1300万画素
	デジタルズーム	静止画：最大約10倍 動画：最大約6.0倍
音楽再生	MP3ファイル	連続再生時間約1800分（バックグラウンド再生対応）
無線LAN		IEEE802.11b/g/n (2.4GHz) 準拠
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.3.0に準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	対応プロファイル※2	HFP、HSP、OPP、SPP、A2DP、AVRCP、PBAP、HID

※1 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても、メールやアプリ、ワンセグなどの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間とは、端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

品名	電池パック P26
使用電池	Li-ion（リチウムイオン）電池
電圧	3.7V
容量	1460mAh

■ ACアダプタケーブル

品名	ACアダプタケーブル P01
入力	AC100V～240V 0.14A　50/60Hz
出力	DC5.0V　1.0A
充電温度範囲	5℃～35℃
長さ	約1200mm（microUSBケーブル）

■ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG、MPO	jpg、mpo
動画	3GPP	3gp、mp4

■静止画の撮影枚数（目安）

お買い上げ時の保存可能枚数です。

解像度	microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数※1
13M（4160×3120）	約495枚
9.7Mワイド（4160×2336）	約558枚
正方形（L）（3120×3120）	約558枚
8M（3264×2448）	約627枚
6Mワイド（3264×1836）	約830枚
正方形（M）（2448×2448）	約830枚
3M（2048×1536）	約1396枚
2Mワイド（1920×1080）	約1396枚
正方形（S）（1536×1536）	約1396枚
VGA（640×480）	約10244枚
QHD（960×540）	約10244枚
正方形（メール）（480×480）	約10244枚

※1 クオリティ：スタンダード

■動画の録画時間（目安）

お買い上げ時の録画可能時間です。

解像度	microSDカード（1GB）に保存できる総録画時間※1
フルHD（1920×1080）	約16分
HD（1280×720）	約32分
VGA（640×480）	約111分
QVGA（320×240）	約346分

※1 クオリティ：スタンダード

■ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（1GB）に保存できる録画時間	約320分

- 放送局、番組によって録画時間は異なります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-02Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.681W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://panasonic.jp/mobile/support/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.647 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168ⓘ

The product “P-02D” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

Concerning European Economic Area: The use of Wi-Fi is restricted to only indoor use in France.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  1. This device may not cause harmful interference, and
  2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.630 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.897 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the

Display Grant section at
http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE211042A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

＊ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

Aircraft
Switch off your mobile phone when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your mobile phone offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

Driving
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of mobile phones while driving must be observed.

Hospitals
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

Petrol Stations
Obey all posted signs with respect to the use of mobile phones or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your mobile phone whenever you are instructed to do so by authorized staff.

Interference
Care must be taken when using the mobile phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 22 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the mobile phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some mobile phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

Other Medical Devices
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your mobile phone may interfere with the operation of your medical device.

Accessories
With your mobile phone, use the battery pack and AC adapter cable specified by NTT DOCOMO, INC. Otherwise, fire, burns, injury or electric shock may result.
Batteries
Do not dispose of battery packs with ordinary waste. The battery pack may catch fire or damage the environment. After insulating the battery terminal with tape, take the unneeded battery pack to a docomo Shop, or follow the instructions of local authorities in charge of collecting used batteries.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「iCお引っこしサービス」「WORLD WING」「公共モード」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「エリアメール」「ｉコンシェル」「spモード」「声の宅配便」「あんしんスキャン」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fi DirectはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- DLNA®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。
- 「ブルーレイディスク」「ブルーレイ」はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Google は Google Inc. の商標です。
- mixi、ミクシィ、mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- GREE及びGREEロゴは、日本またはその他の国々におけるグリー株式会社の登録商標または商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- Contains Adobe® Flash® Player by Adobe Systems Incorporated.

  Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
  ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™ コンテンツアクセス技術によって、著作権で保護されたコンテンツを含む知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又は WMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。本製品が、コンテンツ保護を適切に実施できない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使う本製品の機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、PlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えてはなりません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにPlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL), GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。ソースコードの入手方法に関しては、下記URLへ接続の上、ご確認ください。
  http://panasonic.jp/mobile/gpl/
  なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。
  当該ソフトウェアに関する詳細（GPL／LGPLの各ライセンス文含む）は、ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

- 本製品には、上記の他、次のソフトウェアが含まれます。
  ・Apache License(v.2.0)の下で提供されるApache Software Foundationが開発したソフトウェア
  ・The Free Type Project Licenseの下で提供されるソフトウェア
  ・ICU License-ICU 1.8.1 and later
  Copyright © 1995-2011 International Business Machines Corporation and others
  ・Anti-Grain Geometry-Version 2.4
  Copyright © 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)
  ・Mozilla Public License(v.1.1)の下で提供されるソフトウェア
  これらのソフトウェアに関する詳細（ライセンス文含む）は、ホーム画面▶ ☰ ▶[本体設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

Adobe® Flash® Playerのエンドユーザ・ライセンス契約

本製品にはAdobe Systems IncorporatedまたはAdobe Systems Software Ireland Limited（以下「Adobe」とする）から提供されている、AdobeまたはそのライセンサーSが権利を有する以下のソフトウェア（以下「本ソフトウェア」とする）が含まれています。

- Adobe Flash® Player

本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合は、特に以下の(a)から(f)に記載する制限を含む本契約上のすべての条件に同意したものと見なされます。
本契約にお客様が同意した場合、本契約はお客様および本ソフトウェアを取得し、かつ自らの利益のために本ソフトウェアを使用する法人に対して強制力があり、本製品の提供者、Adobe、Adobeのライセンサーにより執行可能とします。
同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。
(a) お客様は本ソフトウェアを配布およびコピーすることはできません。
(b) お客様は本ソフトウェアを修正、改変することはできません。
(c) お客様は本ソフトウェアをリバースエンジニアリングしたり、逆コンパイルしたり、逆アセンブルしてはならず、本ソフトウェアのソースコードを解明しようと試みないものとします。
(d) 本ソフトウェアは現状有姿にて提供されるものであり、明示的であると黙示的であるとを問わず、商品性の保証、特定目的適合性の保証、第三者権利非侵害の保証を含むがこれらに限られない、いかなる保証もないものとします。提供者、Adobe、Adobeのライセンサーは、当該損害の発生の可能性につき認識していた場合を含む、いかなる場合においても、損害、費用、派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失につき、お客様に対して賠償する責を負わず、懲罰的損害賠償も行わないものとします。上記の制限および排除は、お客様の居住法域の法律により認められる範囲において適用されます。本契約に基づくまたは関連した損害賠償責任の総額は、本製品に対してお客様が支払われた金額があれば、その金額に制限されるものとします。
(e) 本ソフトウェアのバージョンによってはアクセスできないコンテンツがあります。
(f) 信用の連鎖を確立するために使用される証明書は無効とされ得るものであり、新しい証明書を含む本ソフトウェアのバージョンをインストール等しないとアクセスできないコンテンツがあります。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」(パケット通信料無料)
パソコンから　My docomo(http://www.mydocomo.com/)▶ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、「総合お問い合わせ先」にご相談ください(☞P.298)。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します（☞P.123）。
●バイブレーション
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします（☞P.103）。
●マナーモード
着信音・タッチ操作音など本端末から鳴る音を消します（☞P.103）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（☞P.117）、転送でんわサービス（☞P.119）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-02Dからご利用の場合は、＋81-3-6832-6600でつながります。
（「＋」は[0]をロングタッチします。）

■一般電話などからの場合 <ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。**

総合お問い合わせ先

<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障･アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ

製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店等にお持ちください。

'13.1（第2版）
PXQP1003ZA/J1
F1111-2